

# 伊勢志摩サミット三重県民会議第3回総会

## 事項書

日時：平成28年3月29日（火）

15:00～16:00

場所：県庁 講堂

## 開会

### 第1部

#### 議題（1）伊勢志摩サミット開催について

（外務省 伊勢志摩サミット・広島外相会合準備事務局）

#### 議題（2）活動報告等について

- ① 県民会議事業計画について（報告）
- ② 寄附金等を活用したポストサミット事業について（報告）
- ③ 県民会議収支予算について（報告）
- ④ サミット期間中における交通総量抑制対策について（審議）
- ⑤ その他

### 第2部 サミットに関わる県民の皆様のご紹介について

- ① 伊勢志摩サミット宿泊予約センター
- ② ジュニア・サミット視察先「四日市公害と環境未来館」
- ③ おもてなし大作戦「三重県自治会連合会」
- ④ クリーンアップ作戦「三重県ボランティア連絡協議会」
- ⑤ 花いっぱい作戦「なぎさフラワーサークル」
- ⑥ 公式ポスター制作「第4弾ポスターデザイナー」

## 閉会

## 資料

(外務省資料) 伊勢志摩サミット

(資料1-1) 県民会議事業計画

(資料1-2) 伊勢志摩サミット開催に向けた全体のスケジュール

(資料2) 寄附金等を活用したポストサミット事業について

(資料3-1) 県民会議収支予算について

(資料3-2) 協賛、応援、寄附の申込状況等について

(資料4) 伊勢志摩サミットにおける交通総量抑制対策について (案)

(参考資料1) 宿泊予約センターについて

( 2) 配偶者プログラムについて

( 3) ジュニア・サミットについて

( 4) シンボルマークの作成について

( 5) 伊勢志摩サミットフォーラムについて

( 6) 県産食材等の利用促進に向けた取組について

( 7) 弁当供給体制の整備について

( 8) おもてなし大作戦について

( 9) ホームページ・SNSの運営について

( 10) 公式ポスターの展開について

( 11) カウントダウンボード、ノベルティを活用したPR展開について

( 12) プレス等を活用した情報発信について

( 13) 三重県情報館(仮称)について

( 14) 三重県情報誌の作成について

( 15) 多様な主体における国際理解・国際交流事業について

( 16-1) インフォメーション機能の整備について

( 16-2) 外国語案内ボランティアについて

( 17) 住民懇話会の開催状況について

( 18) プレス用シャトルバス運行について

( 19) 各国首脳等と県民との交流について

( 20) 各国先遣隊歓迎夕食会について

( 21) 伊勢志摩サミット記録誌の発行について

( 22) 伊勢志摩サミット記念館の設置について

( 23) 伊勢志摩サミットを契機とした三重県PR動画の制作・放映について

( 24) ANA・JAL機内誌等でのPRについて

( 25) 三重のおもてなしバッグについて

( 26) おもてなし向上研修について

# 伊勢志摩サミット

(2016年5月26日(木)～27日(金))



- 世界経済問題について首脳間で政策協調を議論する場として、1975年から開始。その後、政治問題、地球規模の問題についても議論されるようになった。昨年は6月7日～8日にドイツが議長を務めるG7エルムウ・サミットが開催された。

- 日本はこれまでに5回議長国を務めている。直近では、2008年7月に北海道洞爺湖サミットが開催された。

- 安倍総理は、伊勢志摩サミット開催地決定の理由として、「日本の美しい自然、そして豊かな文化、伝統を世界のリーダーたちに肌で感じてもらえる、味わってもらえる場所」と述べた。

- サミットの開催に合わせ、外務大臣会合、財務大臣・中央銀行総裁会議などの関係閣僚会合が日本各地で開催される。

## 【これまでの動き】

2015年

6月 5日 安倍総理が来年のサミットを伊勢志摩で開催する旨発表

6月 12日 外務省内に伊勢志摩サミット準備事務局を設置

6月 23日 開催日程を2016年5月26日～27日とすることを発表(6月26日閣議了解)

7月 6日 伊勢志摩サミット準備会議・第1回会合(政府)を開催

7月 17日 伊勢志摩サミット及び広島外相会合準備会議・第1回会合(外務省)を開催

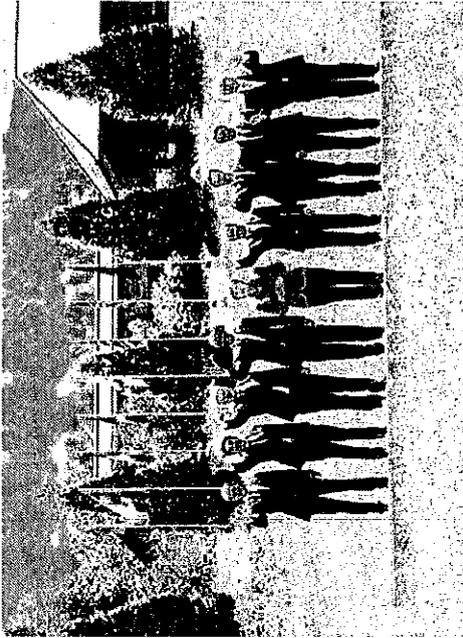
9月 17日 伊勢志摩サミット準備会議・第2回会合(政府)を開催

12月 28日 伊勢志摩サミット・ロゴマーク発表

2016年

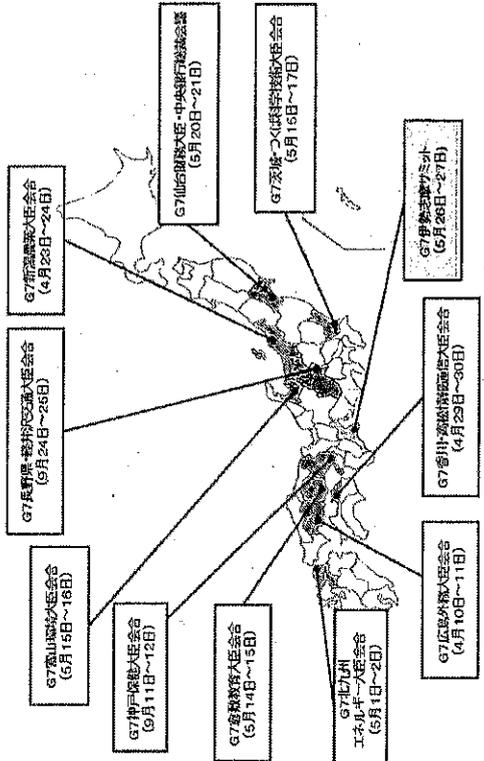
2月 23日 伊勢志摩サミット準備会議・第3回会合(政府)を開催

3月 24日 伊勢志摩サミット準備会議・第4回会合(政府)を開催(持ち回り開催)

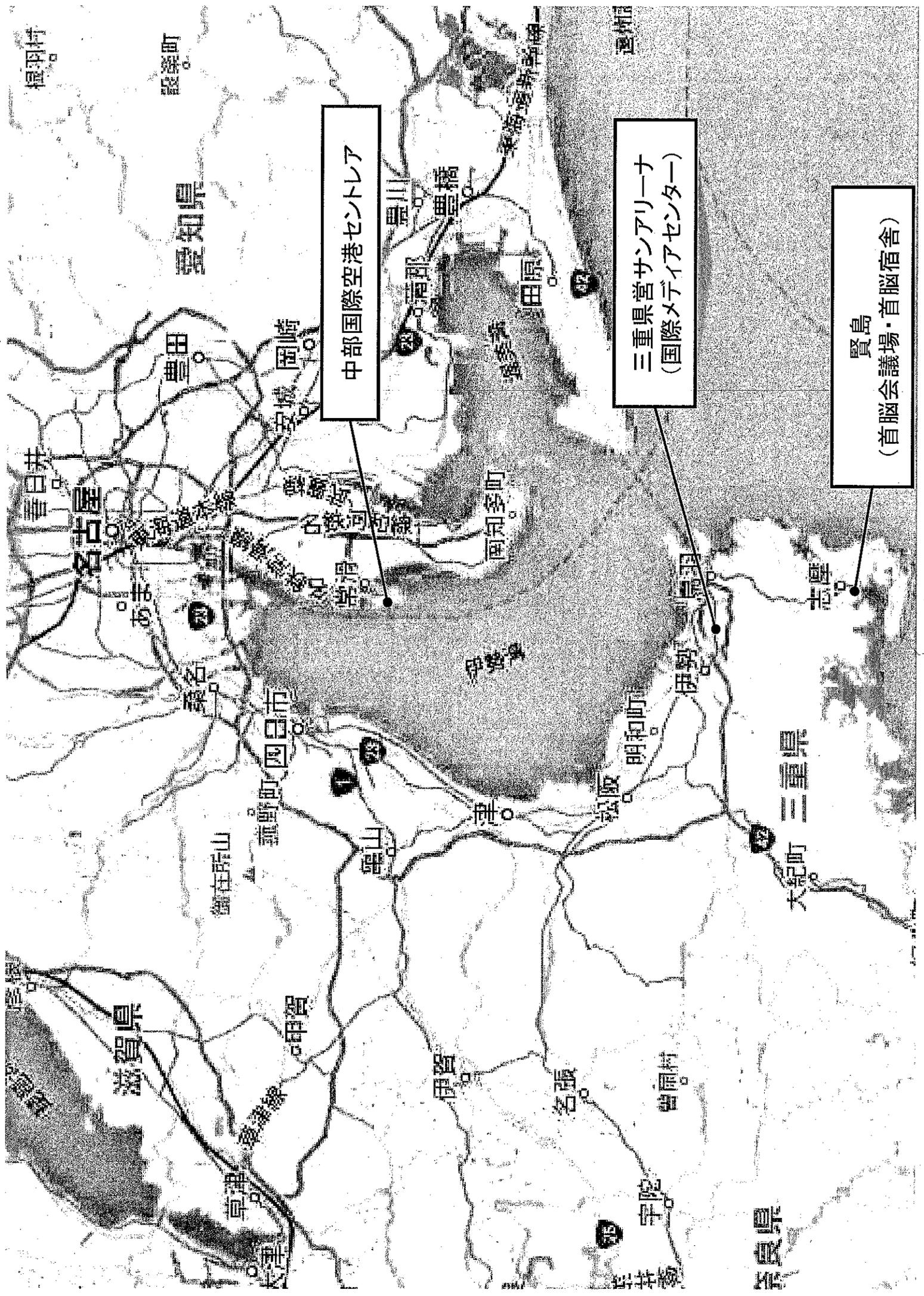


2015年6月 G7エルムウ・サミットに参加した首脳

## 首脳会合および関係閣僚会合の開催地







中部国際空港セントレア

三重県当サンアリーナ  
(国際メディアセンター)

賢島  
(首脳会議場・首脳宿舎)

根羽村

設楽町

愛知県

豊田

岡崎

春日井

名古屋

あま

桑名

四日市

御在所山

滋賀県

甲賀

富山

伊賀

名張

当麻村

明和町

伊勢

大紀町 三重県

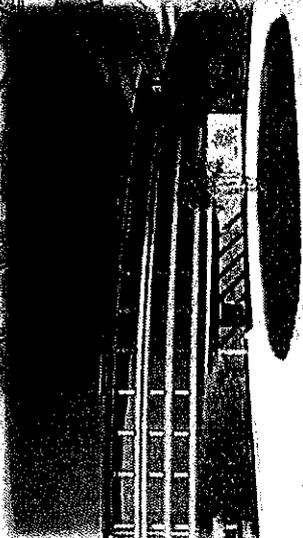
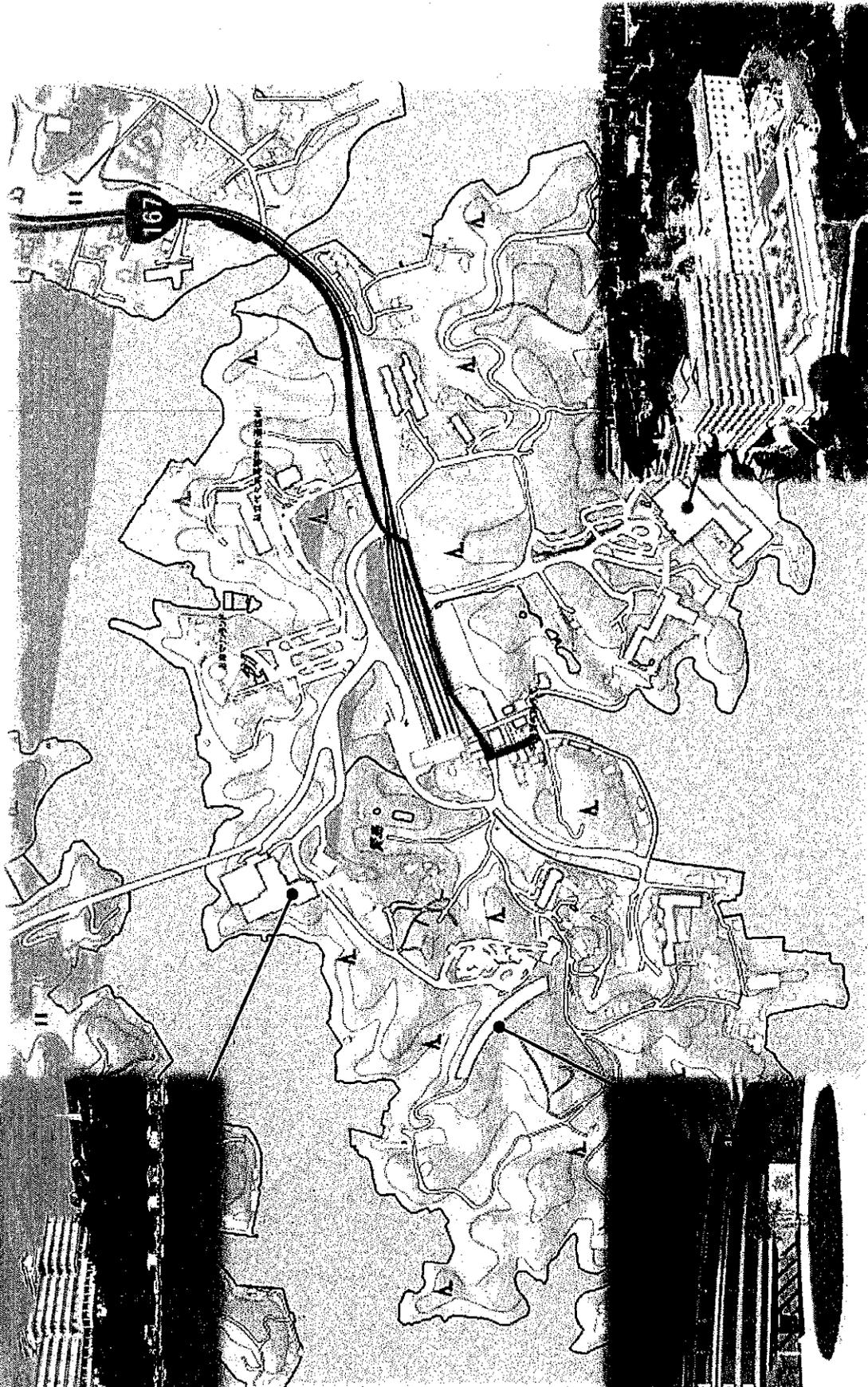
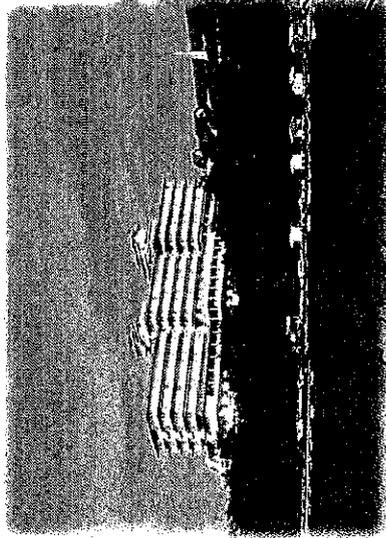
志摩

宇陀

奈良県

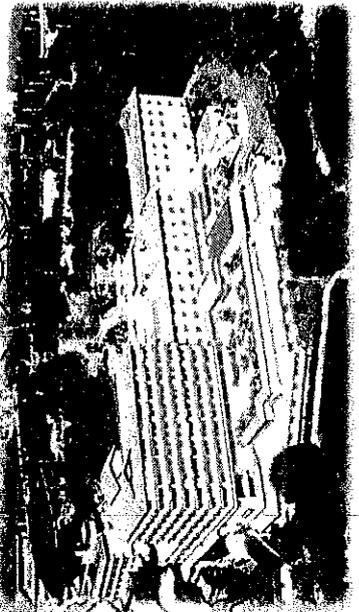


志摩観光ホテル・クラシック



志摩観光ホテル・ベイサイド

賢島宝生苑





平成 28 年 3 月 29 日  
伊勢志摩サミット三重県民会議事務局

## 伊勢志摩サミット三重県民会議 事業計画

### 1 「開催支援」に関すること

#### ◆ 伊勢志摩サミット宿泊予約センターの設置（事業番号 1）

サミット開催時に集中的に来県する関係者に対し、宿泊先となるホテル等を安定的かつ効率的に確保し、宿泊に関するサービスを一元的に提供するとともに、宿泊施設に対するサミット関係者受け入れにあたってのサポートや三重県の観光振興に係る取組などを行う伊勢志摩サミット宿泊予約センターを設置する。

#### ◆ 配偶者プログラムの提案（事業番号 2）

首脳会議が 1 泊 2 日で予定されていることから、その期間内で実施することを想定し、テーマ性やストーリー性を持たせた訪問先やコンテンツを総合的に検討し、三重県の魅力がプログラムに盛り込まれるよう、国への提案を行う。

#### ◆ 県産食材等の利用促進に向けた取組（事業番号 6）

全県をあげて、質の高い県産食材等をリストアップし、サミットにおける国の公式プログラムやレセプション等のほか、プレスツアー等の行事の食事メニューにおいて採用されるよう、県産食材等の活用を国や関係ホテル等に対して積極的に提案する。

#### ◆ 弁当供給体制の整備（事業番号 7）

伊勢志摩サミットの開催に際して、警備、消防、医療、現地スタッフ等に対し、三重県産食材の活用にも配慮した安全・安心かつ美味しい食事を大量に継続して提供するための体制を整備し、関係者用の受注窓口を設置する。

#### ◆ インフォメーション機能の整備（事業番号 16）

世界各国からの来訪者をおもてなしの心でお迎えするため、外国語案内ボランティアを幅広く募集し、地元市町・団体等との協力により、空港や駅等における移動支援・観光案内等のインフォメーション機能を提供する。

#### ◆ 輸送サービスの円滑な提供（事業番号 18）

報道関係者のセントレアと宿泊ホテル間の移動等を円滑にするため、公共交通機関（鉄道・路線バス・高速船など）による移動を補完するシャトルバスを運行するなど、外務省と連携・協力して関係者の移動支援を行う。

◆ 警備関係への協力や住民への情報提供（事業番号17）

地元市町等と調整のうえ、住民懇話会を開催し、サミットに関する情報を、地元関係団体・住民に提供し、伊勢志摩サミット開催に対する理解促進と機運醸成、警備体制の理解を求め、住民が有する疑問や課題の解決を行う。

◆ 公式行事に伴う歓迎交流（事業番号19、20）

歓迎行事を国等と連携して実施し、来県する各国首脳等に、歓迎の意を表明する。

県民（特に子どもたち）が各国首脳と触れ合う機会をつくるため、交流行事を検討する。

◆ 伊勢志摩サミットの開催機運を盛り上げるためのレセプション開催

サミット関係大使館等を招き、サミットの開催機運を盛り上げるとともに三重の魅力伝えるため、レセプションを開催する。

◆ 各国代表団及び国内外報道関係者へのバッグの配布（事業番号25）

来県される各国代表団及び国内外報道関係者に対し、県民のおもてなしの心と歓迎の意を表すと同時に三重の持つさまざまな魅力を伝えるため、「三重のおもてなしバッグ」を編成し、配布する。

## 2 「おもてなし」に関すること

### ◆ 機運醸成に向けたサミットフォーラムの開催（事業番号5）

伊勢志摩サミットへの理解を深め、開催機運を醸成するため、「おもてなし」「明日へつなぐ」「三重の発信」などを県民とともに考えるサミットフォーラムを開催する。

### ◆ おもてなし大作戦（クリーンアップ作戦・花いっぱい作戦）の実施（事業番号8）

世界各国からの来訪者に対し、県民の歓迎の意を表現するとともに、一人でも多くの県民が来訪者歓迎に関わるため、全県的に環境美化・清掃活動、飾花運動を行う。キックオフイベントを行うことで県民参加による伊勢志摩サミット開催の機運醸成や参加意識の向上を目指す。

### ◆ カウントダウンボード、ノベルティを活用したPRの実施（事業番号11）

伊勢志摩サミットに向けて、協賛・応援事業も活用しながら県内外各地にカウントダウンボードを設置することで、伊勢志摩サミット開催の機運醸成を目指す。関係閣僚会合や三重テラス等PR効果の高い県外でのイベントや三重県で開催される全国大会等において、ポストカード等の各種PRツールを用いて幅広く周知を行う。

### ◆ おもてなし向上研修などの実施（事業番号26）

世界各国からの訪問者に満足いただけるおもてなしを行うとともに、国際観光地としてレベルアップのため、各市町の観光協会・観光案内所等の職員向け、及び、飲食店や宿泊施設など生活衛生関係営業向けに、外国人旅行者に対応するための接遇等研修を実施する。

### 3 「明日へつなぐ」に関すること

#### ◆ ジュニア・サミットの開催（事業番号3）

三重の魅力の発信や明日へつながる交流を残すため、三重県開催が決定したジュニア・サミットにおいて、討議に資する視察や県内分散型体験・交流行事を実施し、県内高校生をはじめ県民と交流できる機会を設定する。

#### ◆ 多様な主体における国際理解・国際交流事業の開催（事業番号15）

サミットの開催を契機として、サミット参加国について学ぶ機会を設け、学校や市町、民間企業・団体等、多様な主体が、国際理解・国際交流を深める機会を提供する。特に次代を担う子どもたちが多文化を理解し、国際的な視野や感覚を身に付けるきっかけとすることで、明日を担う世代の育成を目指す。

#### ◆ 大学生・留学生との交流事業

サミット開催を機に、サミット開催地・三重県に、県外大学生や留学生等を招へいし、県内大学生、留学生との交流機会を設ける。

#### ◆ サミット記録誌の発行（事業番号21）

伊勢志摩サミットの準備から開催経過、県民会議や市町等の取組をまとめて記録誌として刊行し、サミット後の県や市町の施策展開や民間企業等の取組に役立つ。

#### ◆ サミット記念館の設置（事業番号22）

伊勢志摩サミットの開催を記念し、サミットの様子や使用された調度品・県産材等の紹介等を行うことなどにより、伊勢志摩サミットの足跡を後世に残すものとして、サミット開催の記念館を設置する。

#### 4 「三重の発信」に関すること

##### ◆ シンボルマークの制定（事業番号4）

県民会議や県民会議の活動に賛同する多くの県民が自由に使用できる県民会議としてのシンボルマークを独自に作成し、広報活動に活用することで伊勢志摩サミット開催の機運醸成を行う。シンボルマーク作成にあたっては、北勢きらら学園在校時の作品が2008年の北海道洞爺湖サミットのロゴマーク公募で最優秀作として採用された近藤氏に依頼し、北海道洞爺湖サミットの経験を伊勢志摩サミットの成功と三重県の明日へつないでいく、また、多様な主体に参画いただくことを、県民会議からの強いメッセージとして発信する。

##### ◆ ロゴマーク募集事業への協力依頼（事業番号4）

伊勢志摩サミット開催の機運醸成のため、県内学校等に向けて国のロゴマーク募集事業への積極的な協力を依頼する。

##### ◆ ホームページ、SNSでの発信（事業番号9）

ホームページ、Facebook、Twitterを活用し、県民会議の取組、三重の魅力やサミットに向けた情報を効果的に幅広く発信する。

##### ◆ ポスター、動画等によるPRの実施（事業番号10、23）

伊勢志摩サミット開催の機運醸成と県民意識の醸成を表現するため、「起・承・転・結」の構成とする「伊勢志摩サミット2016」ポスターを第5弾まで作成し、多くの人々に伊勢志摩サミットの三重県開催のPRを実施する。

また、都市圏及び訪日外国人をターゲットに、三重県に興味を持っていただけるように動画を作成し、首都圏、中部圏、関西圏で放映する。

##### ◆ プレス等を活用した情報発信（事業番号12、24）

伊勢志摩サミット開催を千載一遇の機会ととらえ、サミット開催地である三重県のような魅力を、海外メディアを通して発信することで、三重県の認知度を高め、サミット後のインバウンドの増やMICEの誘致、県産品の販売増などにつなげる。そのため、プレスツアーを実施し海外メディアに実際に三重県取材する機会を提供するとともに、特に発信力のあるメディアでの記事広告等によるPRを行う。

◆ 三重県情報館（仮称）の設置（事業番号13）

国際メディアセンター内に、国内外から来県する多数の報道関係者等を通じて、三重県の魅力を国内外に発信するための拠点として「三重県情報館（仮称）」の設置を要望し、日本の中の「地方」の代表として三重県の伝統・文化、食、技術などの魅力を発信する。

◆ 三重テラス、関西事務所など県外でのイベント等の展開

伊勢志摩サミット開催及び開催地である三重県の全国的な発信のため、三重テラス等にて、2016年伊勢志摩サミット開催に向けたイベント等を展開するとともに、関係閣僚会合開催県と連携を図り、双方のPRを行う。

◆ 海外ミッションの機会等を利用したPRの実施

三重県での伊勢志摩サミット開催をアピールするとともに、三重県の知名度向上を図るため、海外ミッションにて伊勢志摩サミットに関するPRを実施する。





平成 28 年 3 月 29 日  
伊勢志摩サミット三重県民会議事務局  
総務課

### 寄附金を財源としたポストサミット関連事業について

昨年 12 月 18 日開催の県民会議第 3 回役員会にて、サミットのレガシーを三重の未来に生かすため、寄附金の一部を三重県の関係部局が実施する「ポストサミット」関連事業に充てる旨が承認されました。

また、2 月 17 日開催の第 4 回役員会にて、平成 28 年度に県民会議が実施するポストサミット関連事業、及び、平成 28 年度収支予算で確保させていただく 66,000 千円の子備費分を含めた平成 29 年度以降の寄附金充当の考え方について、次のとおり承認されましたので、ご報告いたします。

#### 1 平成 28 年度に県民会議が実施するポストサミット関連事業

平成 28 年度に県民会議が実施するポストサミット関連事業は、県全体のポストサミット関連予算のうち、サミットのレガシーを次世代に継承する事業を中心に、次の 3 事業を選定しました。

- (1) 大学生・留学生との交流事業（事業費 10,239 千円）（別紙 1）  
サミット開催を機に、サミット開催地・三重県に、県外大学生や留学生等を招へいし、県内大学生や留学生との交流機会を設ける。
- (2) 三重県高校生サミット開催事業（事業費 2,538 千円）（別紙 2）  
県内高校生がジュニア・サミットのテーマ等に関する意見交換等を行う。
- (3) 世界に開かれた魅力ある三重県づくり促進プログラム事業  
（事業費 2,000 千円）  
「伊勢志摩サミットメモリアルデー」を創設し、国際交流の支援等につなげる。

【参考】三重県におけるポストサミット関連予算の概要（別紙「参考資料」参照）

#### 2 平成 29 年度以降の寄附金充当の考え方について

県民会議解散時（決算時）において残余となった金額（ポストサミット関連事業のため、平成 28 年度当初予算で確保する 66,000 千円分の予備費を含む）について、県において別途基金を設定する等、平成 29 年度以降のポストサミット関連事業の財源といたします。



平成28年3月29日

伊勢志摩サミット三重県民会議事務局

事業推進課

## 大学生・留学生との交流事業について (案)

## 1 目的

サミットの開催成果を確かな資産として「明日へつなぐ」ため、県外大学生や留学生が三重に集い、県内大学生や留学生と共に、サミットに関係するテーマ等について討議を行う大学生版のサミットを開催し、サミット開催地・三重県が次世代グローバル人材育成の地となることを目指す。

## 2 概要

サミット開催を機に、サミット開催地・三重県に、県外大学生や留学生等を招聘し、県内大学生、留学生との討議や交流の機会を設ける。

## (1) 時期 (予定)

平成28年8月末～9月初旬

※3泊4日程度を想定

## (2) 開催場所 (予定)

伊勢市及び南伊勢町

## (3) 取組内容 (予定)

○サミットのテーマ等に関する討議

○討議に資する現場体験・学習

○討議成果の発表 など

## (4) 参加者 (予定)

○首都圏を中心とする県外大学生、大学院生、留学生

○県内大学生、大学院生、留学生

## (5) 参加人数 (予定)

100人程度



平成28年3月29日  
三重県教育委員会事務局

## 三重の高校生サミット(仮称)について

県内の高校生等とジュニア・サミット参加者が、ジュニア・サミットのテーマ等に関する意見交換等を実施する「三重の高校生サミット(仮称)」を開催する。

### 1 趣旨

グローバル社会において求められる3つの力(「主体性」「共育力」「語学力」)の育成とコミュニケーション能力の向上につなげる。

### 2 内容

テーマ:「次世代につなぐ地球～環境と持続可能な社会」

<第1部> 「ジュニア・サミット」日本代表及び同体験・交流行事参加者による報告、交流会、ワークショップ等

<第2部> テーマに関するディスカッション

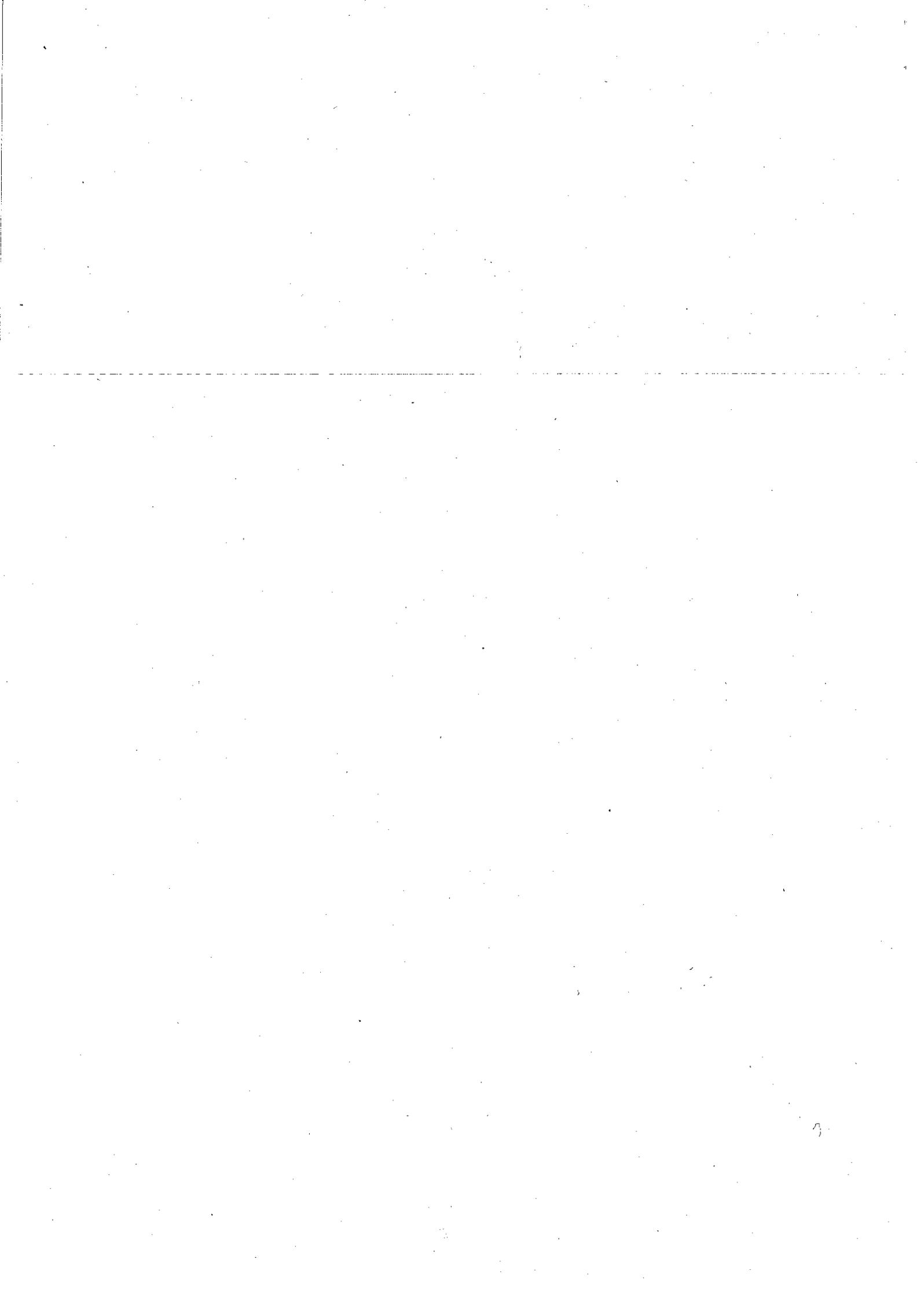
### 3 開催日・場所

平成28年6月 津市内(予定)

### 4 参加対象

高校生ほか(100名程度)

「ジュニア・サミット」日本代表、同体験・交流行事参加者、国際地学オリンピック生徒実行委員、大学生、留学生、ALT、「青少年外相会合広島(仮称)」に参加する高校生等



# ポストサミット関連予算の概要 (H28年度当初予算記者発表資料)

資料2(参考)

戦略企画部企画課

サミットの開催は三重にとって千載一遇のチャンスであり、これを一過性にせず、サミットの資産を次世代に継承していかねばなりません。  
⇒三重県における「ポストサミット」を、《サミットの「レガシー」を三重の未来に生かすこと》と定義し、そのために具体的な取組を展開していきます。

サミット開催に向けた「オール三重」による取組は、県民の皆さんがサミットの成果を地域の発展のために生かそうとする行動や、地域をより良くしようとする行動へとつながります。そのことにより、地域の活力・魅力が高まって、観光やビジネスなどのさまざまな分野で三重が世界から選ばれようになり、それが次代を担う若者や子どもたちの希望につながっていくという「正のスパイラル」が生まれ、地域の自立の自立的かつ持続的な活性化が図られます。そのように、サミットのレガシーを最大限に生かし、三重の未来を持続的に発展させていくことが、「ポストサミット」の基本的な考え方です。

## サミットの「レガシー」

サミットの開催により  
地域にもたらされる  
有形無形の好影響

### ①知名度等の向上

- ・「日本人の心のふるさと」三重・伊勢志摩の知名度の向上や評価・関心の高まり
- ・県民と海外・世界との距離が縮まること 等

### ②会議自体の成果

- ・宣言、方針、共同声明等や、それらに基づく計画、取組 等

### ③地域の総合力の向上

- ・県民や地域の一体感の醸成
- ・郷土に対する愛着や誇りの高まり
- ・地域に対する理解の深化、地域のネットワークの強化
- ・地域で自らイノベーションを起こそうとする県民の行動の活発化(アクティブ・シチズンの増加)
- ・おもてなしの力の向上
- ・「ダイバーシティ※」の視点による地域の深化
- ・県民力で「安全・安心」に取り組みだ経験 等

※ダイバーシティ: 国籍や人種、信仰、性別、ジェンダーの違いや年齢差、障がいの有無などの違いを積極的に受け入れ活用する視点から、組織や社会として人材等の多様性を生かすこと

## 具体的な取組

- ・サミットが開催されるからこそ生まれる(発展する)取組
- ・アクティブ・シチズンとしての県民の行動を促す取組
- ・サミット開催後、一定期間にわたって効果が持続する取組

### ①人と事業を呼びこむ

(知名度等の向上を最大限に生かし、国内外の人びとと事業を呼びこむ取組)

- 【MICE誘致】 ○海外MICE誘致促進事業(27補)  
○世界経済のリーダーを呼び込む国際会議開催事業(27補)
- 【インバウンド】 ○海外誘客推進プロジェクト事業(27補)  
○三重県版バリアフリー観光促進事業(27補)  
○地域活性化(観光活性化)ファンド組成事業
- 【食の産業振興】 ○みえの農林水産物の魅力総合発信事業(27補)  
○「みえの食」グローバル市場獲得推進事業
- 【国際戦略】 ○グローバル創業支援事業(27補)  
○外資系企業ワンストップサービス推進事業(27補)

### ②成果を発展させる

(サミットそのものの成果を引き継ぎ発展させる取組)

- 【安全・安心】 ○安全安心まちづくり事業(一部)
- 【サミットの聖地】 ○みえの農林水産「八百万サミット」開催事業(27補)  
◆世界に開かれた魅力ある三重づくり促進プログラム事業
- 【環境】 ○みえの環境技術移転国際会議開催事業(27補)

### ③次世代に継承する

(サミットを通じて高まった地域の総合力を、次世代の育成や地域の魅力向上につなげる取組)

- 【次世代育成】 ◆三重県高校生サミット開催事業  
◆大学生・留学生との交流事業
- 【女性の活躍】 ○未来へつなぐグッドワーク・グッドライフ創造事業(当初、27補)

※事業名に◆印を付したものは伊勢志摩サミット三重県民会議への寄附金を財源として実施する事業です。

## 持続的に発展する三重の未来へ

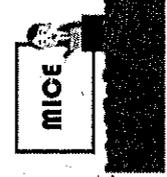
伊勢志摩国立公園指定70周年(平成28)、全国菓子大博覧会・三重(平成29)、三重とわか国体全国障害者スポーツ大会三重大会(平成33)などを経て、第63回神宮式年遷宮(平成37「山口登」)平成45「遷御の儀」へ

「伊勢志摩サミットの開催後、我が国での次のサミット開催地が決定するまで」を三重県の「ポストサミット期」と捉え、長く効果が持続すると期待される取組を展開していく。

☆サミットのテーマ決定、開催成果を受けて、ポストサミットの考え方をさらに進化させ、あわせて関連取組を検討します。

### 【MICE誘致】

- 海外MICE誘致促進事業(27補) [16,708千円]
  - 世界経済のリーダーを呼び込む国際会議開催事業(27補) [30,000千円]
- <目的>  
G7サミットという世界最高峰の国際会議の開催地としての知名度の飛躍的向上を生かし、国際会議をはじめとするMICEの誘致に取り組む。



<具体的な事業内容>  
海外MICEをインバウンドの重要な分野とし、誘致に向けた取組を展開する。  
世界経済のリーダーが集う国際会議を誘致し、世界に「三重」を発信する。

※MICE:企業の会議、企業等が行う観光・研修旅行、国際機関・団体・学会等が行う国際会議、展示会・見本市・イベント。

### 【国際戦略】

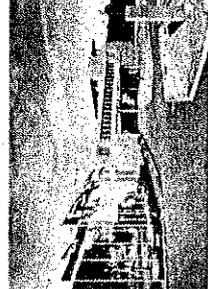
- グローバル創業支援事業(27補) [6,863千円]
  - 外資系企業ワンストップサービス推進事業(27補) [5,493千円]
- <目的>  
サミット開催を契機に、安全・安心等、ビジネス環境における三重の優位性の認知度を高め、世界に向けた起業や外資系企業誘致を推進し、産業の多様性のさらなる向上に取り組む。



<具体的な事業内容>  
・グローバルな創業・第二創業の促進のため、海外支援機関等との連携等を支援する。  
・「外資系企業ワンストップサービス窓口」を設けてニーズへの迅速な対応を図るとともに、各国大使館を通じたPR活動等に取り組む。

### 【環境】

- みえの環境技術移転国際会議開催事業(27補) [10,000千円]
- <目的>  
ジュネーブ・サミットが「環境」をテーマに開催される予定であることから、四日市公害等で培われた環境技術等、環境先進地域、三重の世界への発信と、地球環境の保全と経済成長の両立への貢献に取り組む。



<具体的な事業内容>  
・新興国等を対象に、(公財)国際環境技術移転センター(ICEIT)の研修生OB(政府幹部)等を迎えた国際会議を開催する。

### 【インバウンド】

- 海外誘客推進プロジェクト事業(27補) [63,029千円]
- 三重県版バリアフリー観光促進事業(27補) [3,118千円]
- 地域活性化(観光活性化)ファンド組成事業 [20,000千円]



<目的>  
サミット開催により三重県の知名度が高まる好機を捉え、インバウンド需要のさらなる拡大に向けた環境整備や誘客促進に取り組む。

<具体的な事業内容>  
・欧米市場や富裕層、ゴルフツーリズム等の新たな誘客を促進する。  
・案内表示の非言語(ピクトグラム)化など、インバウンド対応のための環境整備を進める。

### 【安全・安心】

- 犯罪から県民を守るアクションプログラム(仮称)の策定(「安全安心まちづくり事業」の一部) [1,000千円]

<目的>  
「伊勢志摩サミット」の開催による県民の皆さんの安全意識の高まりを引き継ぐとともに、「協創」による安全で安心なまちづくりを着実に進めていくため、「犯罪から県民を守るアクションプログラム(仮称)」の策定を進める。



<具体的な事業内容>  
・安全・安心な社会にとつての新たな脅威となりつつある諸問題に総合的・横断的に対応するため、「犯罪から県民を守るアクションプログラム(仮称)」の策定を進める。

### 【食の産業振興】

- みえの農林水産物の魅力総力発信事業(27補) [18,421千円]
  - 「みえの食」グローバル市場獲得推進事業 [33,164千円]
- <目的>  
サミット開催を通じて三重県の食文化に国内外から注目が集まる機会を生かし、三重の「食」の魅力発信や、国内外への販路拡大に取り組む。



<具体的な事業内容>  
・首都圏等において県産農林水産物の魅力を伝えるとともに、ブランド力の一層の向上を促進する。  
・食に関する多様な連携を推進し、洗練された商品やサービスを創り出しつつ魅力的な情報発信を行うことで、みえの食のブランドイメージを向上し、グローバル市場を獲得していく。

### 【サミットの聖地】

- みえの農林水産「八百万サミット」開催事業(27補) [4,690千円]
- ◆世界に開かれた魅力ある三重づくり促進プログラム事業 [2,000千円]



<目的>  
G7サミットの開催地として、「サミット」といえば三重県というイメージが確立されることを生かし、「サミット」の名のつくイベントの県内開催や、サミットを記念した国際交流等に取り組む。

<具体的な事業内容>  
・農林水産物の生産・加工・販売の主体を集めて行う各種「サミット」を県内で開催する。  
・「伊勢志摩サミットメモリアルデー」を創設し、国際交流の支援等につなげる。

### 【女性の活躍】

- 未来へつなぐグッドワーク・グッドライフ創造事業 [28当初:461千円, 27補:56,887千円, 計57,348千円]

<目的>  
サミット開催により、性別などの「違い」に関わらず活躍する人の姿にあらためて注目が集まり、「多様性」の重要さが再認識される機会をとらえ、三重における女性活躍の機運の一層の醸成に取り組む。



<具体的な事業内容>  
・国際的に知名度のあるスピーカー等招聘し、「女性活躍」をテーマにした公開フォーラムを開催するとともに、参加者による共同宣言を実施する。

(注)事業名に◆印を付したものは、伊勢志摩サミット三重県民会議への寄附金を財源として実施する事業です。

## 伊勢志摩サミット三重県民会議 収支予算

## 収入

(単位:千円)

科目	項目	主な内容	予算額		
			H27年度	H28年度	合計
負担金	県負担金		(139,748)	120,043	257,543
		寄附金分	137,500		
	市町負担金	志摩市、伊勢市、鳥羽市、南伊勢町	150,000	300,000	450,000
諸収入	その他		13,000	13,000	26,000
合計			(302,748)	433,043	733,543
			300,500		

※H27年度における上段括弧書きは、9月役員会で承認された予算額。

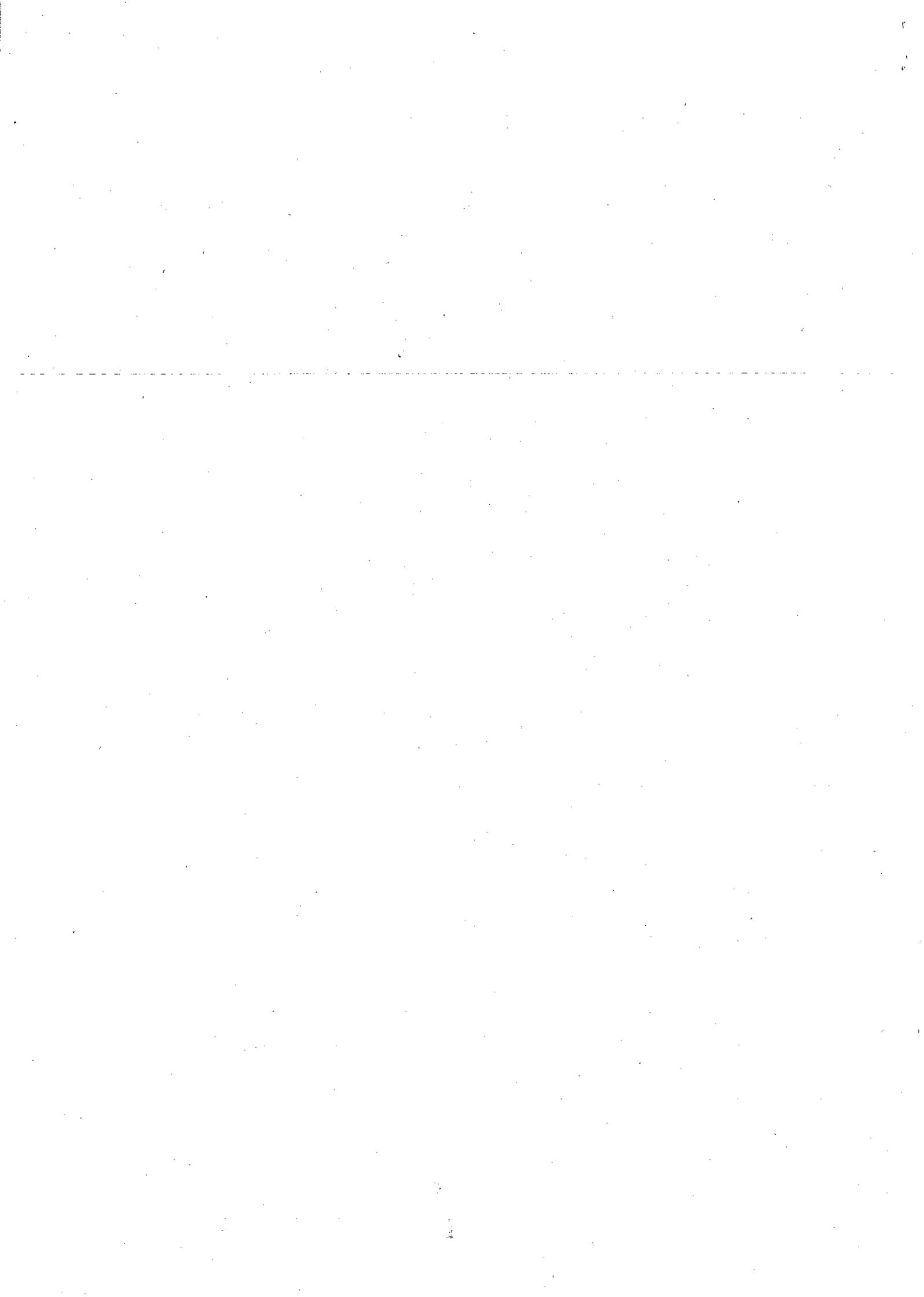
※H28年度の負担金については、それぞれの自治体の議会において、議決後に確定となります。

## 支出

(単位:千円)

科目	項目	主な内容	予算額		
			H27年度	H28年度	合計
事業費	開催支援	各国首脳等の歓迎・交流 インフォメーション機能の整備 報道関係者等の歓迎・支援			
		計	(22,150)	87,766	118,680
	おもてなし	サミットフォーラムの開催 クリーンアップ活動・花いっぱいおもてなし運動			
		計	(38,403)	58,579	110,466
明日へつなぐ	ジュニア・サミット参加者との交流等 サミット記念館の設置、記録誌作成、H28予備費(ポストサミット分66,000千円)				
	計	(13,380)	144,204	160,144	
三重の発信	三重県情報館(仮称)の設置 海外プレスツアー、プロモーション 県内・県外イベントでのPR、ポスター等によるPR 動画CMの放映				
	計	(160,057)	122,451	280,992	
事務局費	県民会議開催費	総会、役員会、部会の開催	2,300	2,066	4,366
	事務局運営費	一般事務費、施設関係経費等	(66,458)	17,977	58,895
		計	(68,758)	20,043	63,261
合計			(302,748)	433,043	733,543
			300,500		

※H27年度における上段括弧書きは、9月役員会で承認された予算額。



# 伊勢志摩サミット関連予算の概要

～平成28年度当初予算【平成27年度2月補正予算含む】（2/15当初予算記者発表資料）～ ※（ ）書きの予算額は、27・28年度2か年分計

伊勢志摩サミットの成功に向けて、市町、企業、関係団体等と連携し「開催支援」に取り組みとともに、サミットを一過性に終わらせることなく、開催後の地域活性化につなげるため、「おもてなし」「明日へつなぐ」「三重の発信」を柱に、全体的な取組を推進します。

総計2,629,026千円  
(9,330,941千円)

## 1. サミット関連予算《伊勢志摩サミット推進局分》計 472,687千円 (805,653千円) \*

### 開催支援

計 88,472千円 (125,504千円)

各国首脳等の歓迎・交流 27,457千円  
インフォメーション機能の整備 12,018千円  
報道関係者等の歓迎・支援 47,665千円 等

### おもてなし

計 58,579千円 (110,466千円)

クリーンアップ活動、花いっぱいおもてなし運動 48,078千円  
サミットフォーラムの開催 4,501千円 等

### 明日へつなぐ

計 144,204千円 (160,144千円) (※)は、サミット終了後の事業

ジュニア・サミット参加者との交流等 25,110千円  
国際理解・国際交流プログラム等 2,282千円  
大学生・留学生との交流事業(※) 10,239千円  
サミット記念館の設置(※) 21,056千円 等  
記録誌作成(※) 10,436千円 等

◎今後新たにポストサミット事業に取り組むための費用として66,000千円を確保

### 三重の発信

計 122,451千円 (280,992千円)

三重県情報館(仮称)の設営・運営 36,200千円  
海外プレスツアー、プロモーション 55,044千円  
県内・県外イベントでのPR、ポスター等によるPR 15,746千円  
動画CMの放映 5,778千円 等

\* 県民会議における市町負担金分を含む

その他事務所設置費・運営費等 58,981千円(128,547千円)

(県民会議事務局運営費・会議費 20,043千円、現地事務所設置経費 13,943千円 等)

## 2. サミット関連予算《安全・安心な開催に向けた対策》計 2,156,339千円 (8,525,288千円)

・子口等対策【警察本部】 1,080,970千円  
・道路除草等の周辺環境整備事業【県土整備部】 721,000千円  
・消防防災関係サミット対策事業【防災対策部】 353,984千円  
・食の安全食品検査事業【健康福祉部】 7,086千円  
・災害医療体制強化推進事業【健康福祉部医療対策局】 5,848千円 等

### 【参考】

ポストサミット事業予算総額 284,611千円 (2月補正を含む。うち14,777千円は、上記の県民会議事業内で計上。)

資料3(参考)



伊勢志摩サミット  
三重県民会議





# ＜参考＞伊勢志摩サミット関連予算の状況



総計 9,330,941千円 【伊勢志摩サミット推進局分 805,653千円、安全・安心対策分 8,525,288千円】 (単位:千円)

予算区分	財源内訳					その他
	果費	国庫支出金	寄附金	県債	基金繰入金	
27年度 12月補正 まで	285,114 【6,701,915】	419,159	150,000	5,489,000	342,589	3,053 【16,053】
27年度 2月補正	▲328	1,986,550	280,000	▲1,395,000	205,931	0
28年度 当初	843,595	665,257	20,000	0	0	10,021 【23,021】
計①	1,128,381	3,070,966	450,000	4,094,000	548,520	13,074 【39,074】

27年度 最終見込②	0	824,682	0	▲803,000	▲18,682	▲3,000
総計 (最終見込 含①+②)	9,304,941 【9,330,941】	3,895,648	450,000	3,291,000	529,838	10,074 【36,074】

国からの財政支援  
 公共事業関係27.1億円(主要国首脳会議開催準備環境整備費補助金6億円、  
 防災・安全交付金 21.1億円)、警察費補助金 4.7億円、  
 地方創生関係 3.6億円、消防防災救急関係交付金 3.5億円

【参考】国庫補助対象となった道路等整備事業(平成27年度予算)の推移

	9月補正	2月補正	最終補正 (見込み)	計(見込み)
県単事業	5,446,900	▲2,975,643	▲1,584,655	886,602
国補事業	-	3,696,643	1,584,655	5,281,298
うち外務省	-	1,222,093	10,260	1,232,353
うち国交省	-	2,474,550	1,574,395	4,048,945
				補助金額
				600,287
				2,110,945

※1 「平成27年度12月補正まで」欄は、平成26年度2月補正分から平成27年度12月補正分までの累計額  
 ※2 【 】書きは、県民会議における市町負担金分(平成27、28年度とも、13,000千円)を含む額を表記  
 ※3 (参考) 企業会計(水道事業会計)の平成28年度当初予算額(19,442千円)は外数

## 協賛、応援、寄附の申込状況等について

平成 28 年 3 月 29 日

協賛、応援、寄附の募集にかかる 3 月 27 日時点での申込状況は、下記のとおりです。

協 賛	応 援
127 件 うち登録 111 件	703 件 うち登録 664 件

協賛の事業提案内容は、別添のとおりです。

			寄 附	
合計		935 件	488,315,302 円	
内 訳	法人		573 件	462,471,291 円
	個人	一般	114 件	25,031,538 円
		クラウド ファンディング	248 件	812,473 円

クラウドファンディングは、2 月 29 日で募集を終了いたしました。

協賛の主な活用状況は、下記のとおりです。

## 【レセプション等】

- 尾鷲名水(株)：ミネラルウォーターを提供
- 新日本工業(株)：パンフレットケースを提供
- (株)赤福：「赤福茶屋」を出展
- 松阪牛協議会：松阪牛を提供
- 森林組合おわせ：ヒノキ板を提供

## 【開催 150 日前イベント(H27.12.27)】

- (株)貫じん堂/ウッドメイクキタムラ：フラッグスタンドを提供
- 三重県漁業協同組合連合会：まぐろ解体ショーの調理補助員を派遣
- イオンリテール(株)：まぐろ解体ショーの調理補助員を派遣
- (株)朝日屋：松阪牛を提供
- JAグループ三重：伊勢のバラを提供
- 三重いちごブランド化推進協議会：「かおり野」いちごを提供

## 【第 2 回サミットフォーラム(H28.1.16)】

- 学校法人鈴鹿医療科学大学：会場を無償貸与
- コカ・コーライーストジャパン(株)：清涼飲料水を提供

- 第一工業製薬(株)/三菱鉛筆(株)：ボールペンを提供
- 草月会三重県支部：生け花を提供

【おもてなし大作戦キックオフイベント(H28.2.14)】

- 三重トヨタ自動車(株)：ごみ袋を提供
- 日本たばこ産業(株)東海支社：スタンド灰皿を提供
- JAグループ三重：伊勢茶ペットボトルを提供
- アサヒ飲料(株)中部北陸支社：清涼飲料水を提供
- (有)森と水を守る会：ミネラルウォーターを提供
- コカ・コーライーストジャパン(株)：清涼飲料水を提供
- 井村屋グループ(株)：振る舞いぜんざいを提供

【県民会議公式ポスター第3弾の制作】

- 株式会社ナミカワ
- 株式会社百五銀行
- イオングループ
- 株式会社第三銀行
- 株式会社トーエネック 三重支店
- 損害保険ジャパン日本興亜株式会社

【県民会議公式ポスター第4弾の制作】

- 三重交通グループホールディングス株式会社
- 株式会社三菱東京UFJ銀行
- 株式会社第三銀行
- 損害保険ジャパン日本興亜株式会社
- 株式会社百五銀行
- イオンリテール株式会社 東海・長野カンパニー
- JAグループ三重
- 株式会社三重銀行
- 日本通運株式会社三重支店
- 明治安田生命保険相互会社
- 東京海上日動火災保険株式会社

協賛申込状況

H28.3.27 時点

伊勢志摩サミットにかかる協賛事業について、現時点での申込状況は、下記のとおりです。

- 【備考】・登録欄の「済」は登録済のもの、空欄は審査中のものです。
- ・公表欄の「○」は内容の公表に同意があるもの、「×」は公表を希望しないものです。

【協賛】

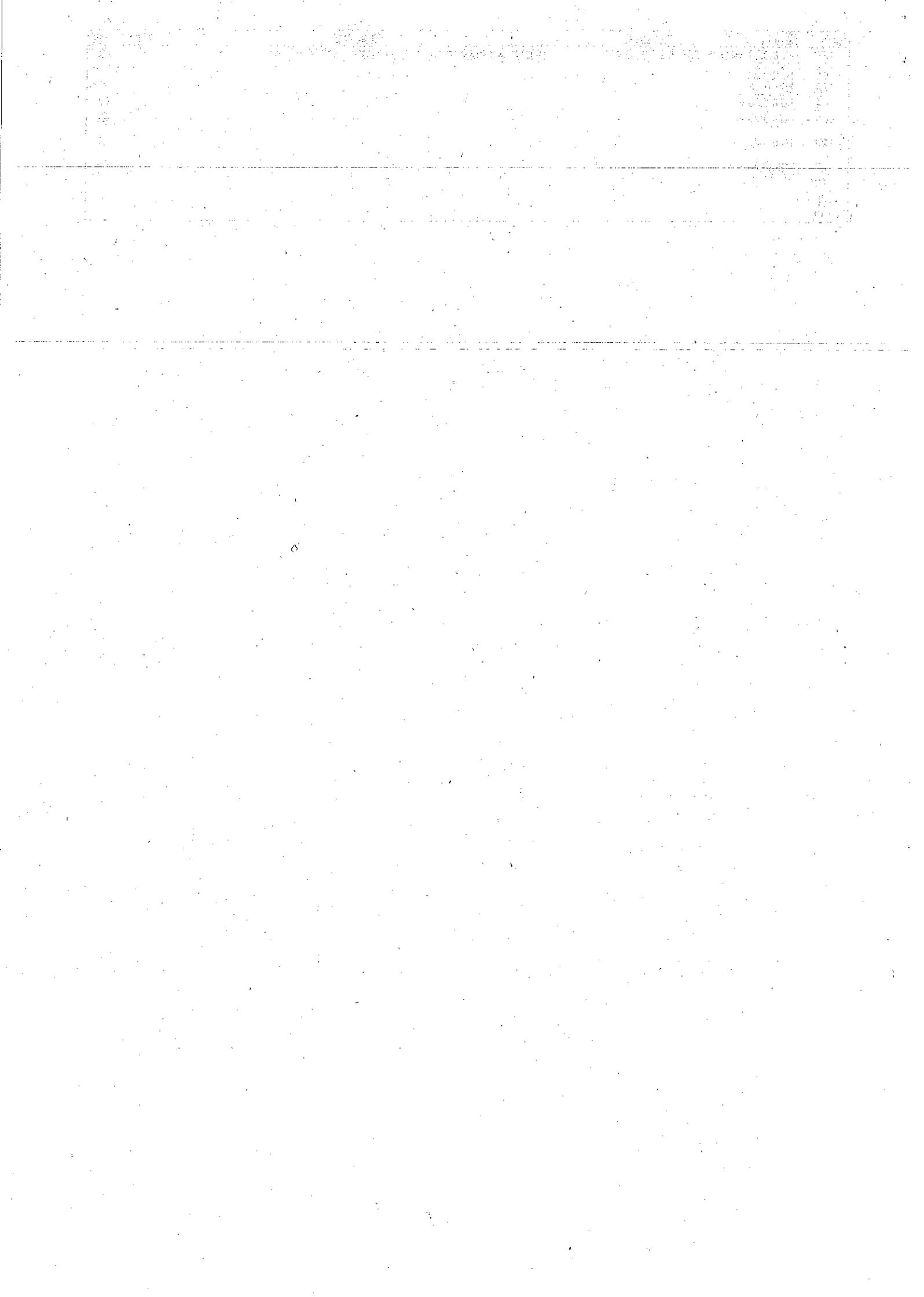
申請件数	127
うち登録件数	111

申込者一覧

番号	受付日	提案者名	提案内容	登録	公表
1	H27.8.28	三重トヨタ自動車株式会社	クリーンアップ運動へのごみ袋等提供他	済	○
2	H27.9.3	尾鷲名水株式会社	サミットの出席者、スタッフにミネラルウォーターを提供	済	○
3	H27.9.11	「小さな親切」運動三重県本部	ごみ袋3万枚(JT協賛)配布し小中学校、企業等とともに、県民会議と同一週に環境美化活動実施	済	○
4	H27.9.11	百五銀行「小さな親切」の会	百五銀行の行員3,000名がサミット開催の直前週に環境美化活動実施	済	○
5	H27.9.16	株式会社宝輪	HOWAビル津(県民会議事務局入居)の空いている立体駐車場を無償貸与	済	○
6	H27.9.18	株式会社アクアイグニス	県民会議が主催するイベント・各種レセプション等へ「伊勢海老パイ」を提供	済	○
7	H27.9.24	株式会社ビーイング	①プロジェクトマネジメントツール無償提供②コンサルサービスとソフト運用支援業務の無償提供	済	○
8	H27.9.25	-	-		○
9	H27.9.25	-	-		○
10	H27.9.25	-	-		○
11	H27.10.5	三重畜産有限会社	サミット関連事業へ牛肉、豚肉、加工品等を提供	済	○
12	H27.10.14	新日本工業株式会社	伊勢志摩サミットの情報誌、パンフレットを入れるケースを作成し提供	済	○
13	H27.10.16	東紀州ヒロメ養殖協議会	県民会議が主催するイベント・各種レセプション等へ東紀州の特産品「ヒロメ」を提供	済	○
14	H27.10.20	マックスバリュ中部株式会社	伊勢志摩サミット関連イベントを対象とした店頭催事スペースの無償貸与	済	○
15	H27.10.26	-	-	済	後日公表
16	H27.10.28	株式会社マルゴ水産	催事会場等へ三重県産活あさり、しじみ、はまぐりの提供	済	○
17	H27.10.30	萬古陶磁器振興協同組合連合会	三重県産の農水産品を扱う団体とコラボしながら萬古焼を提供	済	○
18	H27.10.30	日本たばこ産業株式会社 東海支社	観光、宿泊、警備、報道関係など、人が集まる場所へのスタンド灰皿の提供	済	○
19	H27.11.2	株式会社プラトンホテル	ミス・ユニバース三重ファイナリストによる「伊勢志摩サミット」応援大使	済	○
20	H27.11.2	学校法人鈴鹿医療科学大学	第2回伊勢志摩サミットフォーラム会場となる鈴鹿医療科学白子キャンパスを無償貸与	済	○
21	H27.11.5	大石 小石	サミット関連事業参加者へ本真珠のタイタックとカフセット提供	済	○
22	H27.11.5	黒瀬町自治会	第82回式年遷宮にて使用した子供車輿車をレセプション会場等での展示のため貸与	済	○
23	H27.11.6	株式会社赤福	レセプション開催時の「赤福茶屋」出展	済	○
24	H27.11.6	松阪牛協議会	レセプション開催時の各種商品提供	済	○
25	H27.11.6	日本トランスシティ株式会社	外国語ボランティアの派遣(20~30人程度)	済	○
26	H27.11.10	マイスターコーティング鈴鹿店	県民会議が行うイベントのトイレなどをコーティングする技術を提供	済	○
27	H27.11.12	JAグループ三重	イベント・レセプション等へ伊勢茶ペットボトルを3,310本提供	済	○
28	H27.11.13	株式会社電通名鉄コミュニケーションズ	各種アイテムのデザインやイメージの統一を図るため伊勢志摩サミット共通デザインを提供	済	○
29	H27.11.16	三重県生活衛生同業組合連合会	県民会議のクリーンアップ活動に参加(約100名規模)	済	○
30	H27.11.16	株式会社三重興産社	飾花用のプランターを150個程度提供	済	○
31	H27.11.17	アサヒ飲料株式会社 中部北陸支社	パーティ、レセプション、イベント等へ清涼飲料水を提供	済	○
32	H27.11.17	株式会社大洋工芸	イベント等でパネルなどを展示する際に必要な展示用ボードを無償提供	済	○
33	H27.11.20	おぼろタオル株式会社	サミット関連事業の参加者等へフェイスタオル500枚を提供	済	○
34	H27.12.1	四日市スーパービジョン	四日市駅前のスーパービジョンでサミット関連動画を放映	済	○
35	H27.12.2	NTN株式会社 伊勢志摩サミット応援プロジェクト	複合型(風力・太陽光)の街路灯を10基提供	済	○
36	H27.12.8	森林組合おわせ	レセプション開催時のヒノキ板提供	済	○
37	H27.12.8	三重県森林組合連合会	カウントダウンボード(小)×1基、(大)×2基の提供	済	○
38	H27.12.8	有限会社森と水を守る会	各種会場等へ「森の番人」ペットボトル500ml×5,000本提供	済	○
39	H27.12.17	株式会社百五銀行	外国語ボランティアの派遣(10~20人程度)	済	○
40	H27.12.17	西川製菓「鈴鹿あられ」	イベント等へ「サミットあられ」を提供	済	○
41	H27.12.17	花の国づくり三重県協議会	花いっぱい運動に必要な講師役の派遣	済	○
42	H27.12.17	三重県花植木振興会	イベント会場等で植木を用いた飾花	済	○
43	H27.12.17	株式会社コミュニケーションサービス	フリーマガジン「みえなびプラス」へサミット関連情報を掲載	済	○
44	H27.12.17	株式会社保田商店	ジュニアサミット会場へ「桑名もち小麦」のお菓子提供	済	○
45	H27.12.17	株式会社貫じん堂/ウッドメイクタムラ	開催記念フラッグスタンドの提供	済	○
46	H27.12.17	株式会社ナミカフ	県民会議公式ポスター第3弾への社名表記を前提とした協賛事業	済	○
47	H27.12.17	株式会社百五銀行	県民会議公式ポスター第3弾への社名表記を前提とした協賛事業	済	○
48	H27.12.17	イオングループ	県民会議公式ポスター第3弾への社名表記を前提とした協賛事業	済	○
49	H27.12.17	株式会社第三銀行	県民会議公式ポスター第3弾への社名表記を前提とした協賛事業	済	○
50	H27.12.17	株式会社トーエネック 三重支店	県民会議公式ポスター第3弾への社名表記を前提とした協賛事業	済	○
51	H27.12.17	損害保険ジャパン日本興亜株式会社	県民会議公式ポスター第3弾への社名表記を前提とした協賛事業	済	○
52	H27.12.18	桑名の千羽鶴保存会	桑名市無形文化財「桑名の千羽鶴」装飾置物をレセプション会場等での展示用として貸与	済	○
53	H27.12.21	NTN株式会社 伊勢志摩サミット応援プロジェクト	ジュニア・サミットin三重開催のラッピングを施したEV車両を3台貸与	済	○
54	H27.12.21	三重県漁業協同組合連合会	伊勢志摩サミット150日前記念イベントにおけるまぐろ解体ショーに調理補助員や販促物の貸与	済	○
55	H27.12.21	株式会社朝日屋	伊勢志摩サミット150日前イベントにおける試食会に「ももみや号」精肉を無償提供	済	○

番号	受付日	提案者名	提案内容	登録	公表
56	H27.12.28	イオンモール株式会社	県民会議が実施するイベントスペースの無償貸与	済	○
57	H28.1.5	株式会社FIXER	県民会議HPの開発と提供	済	○
58	H28.1.5	井村屋グループ株式会社	井村屋スポーツようかん50,000本提供	済	○
59	H28.1.5	コカ・コーライーストジャパン株式会社	コカ・コーラ製品4,800本提供	済	○
60	H28.1.5	-	-	済	×
61	H28.1.5	JAグループ三重	伊勢志摩サミット150日前イベントにおける来場者へ伊勢のバラを提供	済	○
62	H28.1.7	イオンリテール株式会社	伊勢志摩サミット150日前記念イベントにおけるまぐろの解体時に必要な技能を有する職員の派遣	済	○
63	H28.1.12	-	-		○
64	H28.1.12	井村屋グループ株式会社	県民会議が実施するイベント等へ振る舞いぜんざい30,000食分	済	○
65	H28.1.13	株式会社エルテス	サミット開催前後の「三重の発信」に関するネット上の評判分析	済	○
66	H28.1.13	-	-		○
67	H28.1.13	株式会社エルテス	サミット開催期間中のネット上のリスク情報収集	済	○
68	H28.1.18	創作工房ネオ	県内産の間伐材で作ったエコ箸1,000膳協賛	済	○
69	H28.1.18	-	-	済	×
70	H28.1.22	サンヨー食品株式会社	伊勢志摩サミット開催記念 三重亀山ラーメン7,777個協賛	済	○
71	H28.1.25	株式会社ナミカワ	県民会議第3弾ポスターB1、B2サイズ至急分の印刷	済	○
72	H28.1.25	三菱鉛筆株式会社/第一工業製薬株式会社	インクにセルロースナノファイバーを使用したボールペンを7,000セット協賛	済	○
73	H28.1.25	住友電装株式会社	外国語ボランティアの派遣(10人程度)	済	○
74	H28.1.25	全日本空輸株式会社 名古屋支店	機内誌広告枠、機内VTR枠の無償提供	済	○
75	H28.1.25	株式会社伊勢・安土桃山文化村	無料招待券5,000枚提供	済	○
76	H28.1.25	亀山製絲株式会社	ナノファイバーマスク10,000枚協賛	済	○
77	H28.1.26	-	-	済	×
78	H28.2.1	三重いちごブランド化推進協議会	150日前イベントで来場者プレゼントして「かおり野」いちごを提供	済	○
79	H28.2.1	草月会三重県支部	第2回伊勢志摩サミットフォーラム会場にいけばなの提供	済	○
80	H28.2.1	-	-		×
81	H28.2.23	株式会社貫じん堂/ウッドメイクタムラ	開催記念フラッグスタンドの提供(8か国バージョン)	済	○
82	H28.2.9	-	-	済	後日公表
83	H28.2.9	パナソニックエコシステムズ株式会社/新日本工業株式会社	空間清浄機「ジアイーノ」2台協賛	済	○
84	H28.2.9	アドアムティ合同会社/株式会社藤波タオルサービス	伊勢木綿の手ぬぐいおしぼり(木箱つき)300個協賛	済	○
85	H28.2.9	中部電力株式会社 三重支店	県民会議のクリーンアップ活動に同調した管内事業場周辺の清掃活動	済	○
86	H28.2.9	イオンリテール株式会社 東海・長野カンパニー	県民会議のクリーンアップ活動に同調したクリーン活動の実施	済	○
87	H28.2.10	-	-	済	×
88	H28.2.15	一般社団法人三重県安全運転管理協議会	機関紙「みえANKAN」表紙面の提供	済	○
89	H28.2.15	株式会社三重銀行	県民会議のクリーンアップ活動に同調した清掃活動	済	○
90	H28.2.15	株式会社第三銀行	県民会議のクリーンアップ活動に同調した清掃活動	済	○
91	H28.2.24	JAグループ三重	第9回美し国三重市町対抗駅伝における県民会議主催PRブースへの三重県産農畜産物の提供	済	○
92	H28.3.1	酔月陶苑(清水 酔月)	手づくりによる酒盃を1,000個協賛	済	○
93	H28.3.1	松阪漁業協同組合	乾燥青さのりを700個協賛	済	○
94	H28.3.1	株式会社稲藤	「海女うちわ」をうちわ箱に入れて5箱提供	済	○
95	H28.3.3	三重交通グループホールディングス株式会社	県民会議公式ポスター第4弾への社名表記を前提とした協賛事業	済	○
96	H28.3.3	株式会社三菱東京UFJ銀行	県民会議公式ポスター第4弾への社名表記を前提とした協賛事業	済	○
97	H28.3.3	株式会社第三銀行	県民会議公式ポスター第4弾への社名表記を前提とした協賛事業	済	○
98	H28.3.3	損害保険ジャパン日本興亜株式会社	県民会議公式ポスター第4弾への社名表記を前提とした協賛事業	済	○
99	H28.3.3	株式会社百五銀行	県民会議公式ポスター第4弾への社名表記を前提とした協賛事業	済	○
100	H28.3.3	イオンリテール株式会社 東海・長野カンパニー	県民会議公式ポスター第4弾への社名表記を前提とした協賛事業	済	○
101	H28.3.3	JAグループ三重	県民会議公式ポスター第4弾への社名表記を前提とした協賛事業	済	○
102	H28.3.3	株式会社三重銀行	県民会議公式ポスター第4弾への社名表記を前提とした協賛事業	済	○
103	H28.3.3	日本通運株式会社 三重支店	県民会議公式ポスター第4弾への社名表記を前提とした協賛事業	済	○
104	H28.3.3	明治安田生命保険相互会社	県民会議公式ポスター第4弾への社名表記を前提とした協賛事業	済	○
105	H28.3.3	東京海上日動火災保険株式会社	県民会議公式ポスター第4弾への社名表記を前提とした協賛事業	済	○
106	H28.3.8	スリーエムジャパン株式会社	ポストイットを5,000個以上提供	済	○
107	H28.3.8	株式会社百五コンピュータソフト/株式会社PIJIN	多言語表示QRコードを無償提供	済	○
108	H28.3.8	シャチハタ株式会社	シンボルマークをデザインしたアナログスタンプ20個を提供	済	○
109	H28.3.8	三重県ボランティア連絡協議会	県民会議のクリーンアップ活動に同調したクリーンアップ作戦&見守り・見回り活動の実施	済	○
110	H28.3.8	池坊津支部	生花による生け花作品を提供	済	○
111	H28.3.14	万協製薬株式会社	高校生と共同開発したシャンプー、トリートメント2本セット協賛	済	○
112	H28.3.14	株式会社パイロットコーポレーション	「フリクション」をオリジナル仕様にして20,000本協賛	済	○
113	H28.3.14	-	-		○
114	H28.3.23	株式会社サトー	オリジナルデザインのサミットステッカー5,000枚協賛	済	○
115	H28.3.23	-	-		○
116	H28.3.23	大塚製薬株式会社 津出張所	関係者へ熱中症予防啓発の勉強会開催	済	○
117	H28.3.23	-	-		○
118	H28.3.23	-	-		○
119	H28.3.23	御在所ロープウェイ株式会社	ジュニア・サミット交流行事への協賛(交流の場およびロープウェイ料金免除)	済	○
120	H28.3.23	株式会社宮崎本店	県民会議が開催するレセプション等へ日本酒を提供	済	○

番号	受付日	提案者名	提案内容	登録	公表
121	H28.3.23	国立大学法人三重大学	県民会議が開催するレセプション等へ日本酒を提供	済	○
122	H28.3.23	-	-		後日公表
123	H28.3.23	-	-		後日公表
124	H28.3.23	-	-		○
125	H28.3.23	-	-		○
126	H28.3.23	-	-		○
127	H28.3.23	-	-		○
128					
129					
130					



平成28年3月29日  
伊勢志摩サミット三重県民会議事務局

### 伊勢志摩サミットにおける交通総量抑制対策について（案）

5月26日・27日に開催される「伊勢志摩サミット」を成功させるために、伊勢志摩サミット三重県民会議では、「テロ対策三重パートナーシップ推進会議」内の「伊勢志摩サミット交通対策推進ワーキング」と連携して、下記のとおり、三重県内各路線における交通総量抑制対策に取り組みます。

#### 記

1. 対策期間 平成28年5月25日（水）～28日（土）
2. 対策内容
  - (1) 期間前「相互啓発の促進」

対策期間中における交通規制の実施、公共交通機関利用促進について、組織内外における周知徹底、自主的な広報に努めます。
  - (2) 期間中「交通総量抑制行動」

対策期間中の交通規制に伴う一般交通に対する影響を最小限にとどめるため、次のとおり交通総量抑制に取り組みます。

    - ①不要不急の乗用車利用の自粛
    - ②通勤時等における公共交通機関利用の促進
    - ③移動時の乗り合い乗車の促進
    - ④期間中における不要不急の会議、イベント等の自粛など

以上



平成28年3月29日  
伊勢志摩サミット三重県民会議事務局  
開催支援課

## 伊勢志摩サミット宿泊予約センターについて

### 1 目的

サミット開催時に集中的に来県する関係者の宿泊先を、安定的かつ効率的に確保・提供するとともに、宿泊者及び宿泊施設に対する適切なサポートや三重県の観光振興につながる取組を行います。

### 2 取組内容

#### (1) センターの役割

伊勢志摩サミット三重県民会議が公認する宿泊予約センターとして、サミット開催時に集中的に来県する関係者に対し、宿泊先となるホテル等を安定的かつ効率的に確保し、宿泊希望者への円滑かつ適切な申込み、配宿、精算、情報提供等のサービスを一元的に提供するとともに、宿泊施設に対するサミット関係者受け入れにあたってのサポートや三重県の観光振興に係る取組などを行います。

#### (2) 宿泊予約取扱対象者

各国代表団、報道関係者、日本政府関係者、警備関係者、消防関係者、医療関係者等

#### (3) センター概要

- ①開設日 平成27年8月24日(月)
- ②運営事業者 伊勢志摩サミットに係る宿泊手配等業務コンソーシアム  
※株式会社JTB中部(代表)、近畿日本ツーリスト株式会社、株式会社日本旅行の3社による共同事業体
- ③住所 三重県津市羽所町375 百五・明治安田ビル5階
- ④電話番号 059-228-8450
- ⑤営業時間 平日9時30分から17時30分まで(土日祝は休業)
- ⑥職員体制 27人

#### (4) 宿泊施設確保の状況

サミット開催前後のピーク時に想定される2万5千人程度が宿泊できるよう、1日あたり最大約8千5百室を確保しています。現時点で、おおよそ必要な客室数を確保できていますが、実際に宿泊する期間・人数・部屋タイプ等に応じた必要な客室を確保するため、引き続き、宿泊施設と個別調整を行い、増室及び減室を重ねています。

#### (5) 風評対策

4月・5月の伊勢志摩方面への旅行について、GW期間中までは、宿泊予約センターがサミット関係者用に確保している客室もそれほど多くなく、センターの確保分以外は各宿泊施設が通常通りの営業を行っており、GW明けも開催が近くまでは一般観光客の利用について特別な制限は有りませんが、「宿が取れないの

ではないか」などの風評が一部でありました。そこで、県観光局、広聴広報課、宿泊予約センターと連携し、旅行代理店や観光客への適時的確な情報提供、伊勢志摩観光PRに取り組むことにより、正確な理解の促進と誘客に努めています。

その結果、大手旅行会社では、伊勢志摩地域の状況についての正確な情報を店頭スタッフに提供してお客様への声かけを後押しする取組や、応援セール、クーポン付き旅行プラン販売などの伊勢志摩送客キャンペーンを実施して、誘客に努めています。また、4月以降、伊勢志摩地域の宿泊客に占める割合が高い関西圏の旅行会社においてキャンペーンを実施する予定です。

### 3 事業実施スケジュール

- ・ 8月31日～9月7日 宿泊施設向け説明会の開催
- ・ 9月～ 必要な客室数の確保
- ・ 10月～ センター新事務所開設、宿泊希望者からの問合せ対応・調整
- ・ 11月～ 確保済み客室の内、使用見込みのない客室の返還（随時）
- ・ 12月21日 宿泊予約センターホームページの立ち上げ
- ・ 1月29日 ホームページ上に報道関係者、支援事業者を対象とした宿泊申込WEBサイト開設→3月下旬宿泊施設への中間予約状況報告→WEB受付終了（支援事業者4月8日、報道関係者4月25日）
- ・ 1月29日 宿泊施設に対する配宿計画案の提示
- ・ 1～3月 宿泊施設向け説明会の開催
- ・ 3月～ 一部団体の宿泊受け入れ開始
- ・ 4月 外国人受入に際してのおもてなしセミナーの開催（予定）

## 【観光局の取組状況】

- ・ 1月8日(金)  
伊勢志摩地域の観光協会等観光関係者を訪問し、現状把握及び情報提供。
- ・ 1月13日(水)  
(一社)日本旅行業協会(大手旅行会社、宿泊施設等約450会員)の賀詞交歓会で三重県への送客を告知。
- ・ 1月19日(火)  
JTB中部圏誘致協議会(中部8県(富山、石川、福井、長野、岐阜、静岡、愛知、三重)のJTB関係者、宿泊施設、観光施設等約600会員)の賀詞交歓会で三重県への送客をお願いすることに加え、JTB店舗でのキャンペーン開催の依頼。
- ・ 1月21日(木)  
JTB本社主催賀詞交歓会で、木村三重県旅館ホテル生活衛生同業組合理事長が(一社)日本旅行業協会田川会長(JTBグループ会長)に文書(12月24日付け)を手渡し、三重県への送客を依頼。
- ・ 1月22日(金)
  - ①(一社)全国旅行業協会の支部(愛知、岐阜、静岡、大阪、兵庫)に対して、伊勢志摩地域の宿泊施設の状況について情報を提供し三重県への送客を依頼。今後、各支部から会員旅行会社に情報共有される予定。
  - ②観光経済新聞主催「人気温泉旅館250選5ツ星の宿表彰式」で、東京事務所長が三重県への誘客を依頼。
- ・ 1月25日(月)  
業界紙「トラベルニュース」で伊勢志摩サミット前のGW時の伊勢志摩地域の正しい情報を発信。
- ・ 2月1日(月)  
近畿日本ツーリスト直営店及び特約店約730店舗に対して伊勢志摩の宿泊施設への送客依頼文書の配信を依頼。
- ・ 2月9日(火)  
(一社)全国旅行業協会本部に対して、会員会社への伊勢志摩の宿泊施設への送客依頼文書の配信を依頼し約3,000社にメールマガジンで配信。
- ・ 2月9日(火)  
3月にJTB中部管内の165店舗にて伊勢志摩送客キャンペーンを実施することが決定。
- ・ 2月10日(水)  
伊勢鳥羽地域の観光協会関係者を訪問し、現状把握。
- ・ 2月11日(木)  
業界紙「旬刊旅行新聞」で伊勢志摩サミット前のGW時の伊勢志摩地域の正しい情報を発信。
- ・ 2月17日(水)  
三重県観光連盟事務局から会員(266)宛に誘客営業用書面を配信。
- ・ 2月18日(木)  
大手旅行会社4社の仕入れセンター(宿の宿泊状況を把握している部署)を訪問し現状把握。
- ・ 2月20(土)  
伊勢志摩うまいもん横丁(あべのハルカス)のPRイベントで、来場者に伊勢志摩観光のPR

- ・ 3月1日（火）～3月31日（木）  
JTB中部管内の165店舗にて伊勢志摩送客キャンペーンを実施。
- ・ 3月3日（木）～4日（金）、3月8日（火）～9日（水）  
関西圏メディアを対象に実施したファミトリップにおいて、GW時の伊勢志摩地域の正しい情報を提供すると共に、消費者への発信を依頼。
- ・ 3月4日（金）～  
楽天トラベル独自の取組として、楽天原資のクーポン（1,000円、2,000円）を700枚発行し集客効果を図って頂いている。また、三重県特集頁「みえごちそうサミット」内でサミット前の伊勢志摩への来訪を呼びかけ。
- ・ 3月5日（土）～31日（木）  
日本旅行関西の12店舗及び提携店6店舗の計18店舗にて伊勢志摩送客キャンペーンを実施
- ・ 3月10日（木）  
業界紙「トラベルニュース」にてGWの伊勢志摩地域の観光情報を発信。発行部数21,000部のうち10,000部は（一社）全国旅行業協会の全国イベントにて配布。
- ・ 3月17日（木）  
広聴広報課が県内主要新聞6社（読売、朝日、毎日、中日、産経、伊勢）の県内版に掲載する「広報みえ」にて、「サミット前のGWは伊勢志摩に旅しよう！」と題し、宿泊施設や観光施設がGW明けも通常営業していることを新聞読者向けに発信。発行部数は6紙合せて約66万部。
- ・ 3月20日（日）  
広聴広報課が産経新聞の東海・三重版に掲載する新聞広告「三重の魅力再発見」にて、「サミット前のGWは伊勢志摩に旅しよう！」と題し、宿泊施設や観光施設がGW明けも通常営業していることを産経新聞読者向けに発信。発行部数は約24万部。掲載エリアは愛知、岐阜、三重の他、奈良、和歌山の一部エリア。
- ・ 3月18日（金）（22:15～22:30）  
三重テレビ放送「県政チャンネル～輝け！三重人」にて放送（伊勢志摩旅行ができること、着地型旅行商品を紹介）
- ・ 3月18日（金）（6:36～6:38頃）  
東海ラジオ「はやバン！」にて放送（伊勢志摩旅行ができること、着地型旅行商品を紹介）
- ・ 3月19日（土）～31日（木）  
近畿日本ツーリスト関西の10店舗にて伊勢志摩送客キャンペーンを実施予定。
- ・ 3月20日（土）～31日（木）  
名鉄観光の13店舗にて伊勢志摩送客キャンペーンを実施予定
- ・ 3月22日（火）（7:43～7:48頃）  
FM三重「READY！」にて放送（伊勢志摩旅行ができること、着地型旅行商品を紹介）
- ・ 3月31日（木）  
じゃらんネットメールマガジン（関西80万通、東海40万通）で伊勢志摩へ行こうキャンペーンを実施予定。
- ・ 4月7日（木）（7:43～7:48頃）  
FM三重「READY！」にて放送予定（伊勢志摩旅行ができること、着地型旅行商品を紹介）

平成 28 年 3 月 29 日  
伊勢志摩サミット三重県民会議事務局  
開催支援課

## 配偶者プログラムについて

### 1 目的

国に対し配偶者プログラムの訪問先や体験内容等についての提案を行うことで、美しい自然や豊かな文化・伝統などの三重の魅力をプログラムに盛り込み、三重の魅力を世界に向けて発信していく。

### 2 取組方針

- (1) 国が行う配偶者プログラムに、三重県としての提案を盛り込んでもらう。
- (2) 首脳会議が 1 泊 2 日で予定されており、配偶者プログラムもその期間内での実施となる（想定：5 月 26 日午後、27 日午前）。ただし、日程を勘案するとそれぞれ半日程度の行程となり、賢島から遠距離への訪問はできない。

### 3 取組状況

テーマ性やストーリー性を持たせた訪問先やコンテンツを総合的に検討のうえ、10 月 9 日（金）に、「伊勢志摩にみる日本の伝統・文化」のテーマのもと、「多様性」「持続性」「独創性」「女性」「食」をキーワードとして、県としての案を決定し、知事から外務省に対し、提案を行った。

現在も、国において、継続して検討中の段階であり、三重県提案の採用を外務省に働きかけている。

### 4 今後の進め方

引き続き、三重県提案の採用を検討段階の外務省に働きかける。検討に際し、具体化が必要な内容に関しては調整のうえ、情報提供を継続して行っていく。

国が配偶者プログラムの訪問先等を決定した後は、県民会議の担当となる行程について、県民会議としてコンテンツを具体的に検討し実施する。



平成28年3月29日

伊勢志摩サミット三重県民会議事務局

事業推進課

## ジュニア・サミットについて

## 1 目的

ジュニア・サミット参加者が三重県の魅力に触れるとともに、三重県の子ども達に交流機会を提供します。

## 2 「2016年ジュニア・サミットin三重」の概要

ジュニア・サミットは、伊勢志摩サミットの関連行事として、国が主催するもので、G7各国から選考された15～18才の若者が集まり、世界が直面する課題について、青少年の視点から英語で議論を行います。

今回は、三重県が提案した「次世代につなぐ地球～環境と持続可能な社会」を討議テーマとして議論し、意見をまとめ、成果文書を各国首脳に届けます。

伊勢志摩サミット三重県民会議では、開催期間中、ジュニア・サミット参加者が三重県の魅力に触れるとともに、三重県の子ども達と交流する機会を提供します。

## 3 内容

## (1) 開催期間（予定）

平成28年4月22日から28日まで

（4月21日会場入り、4月29日東京出発）

## &lt;プログラム&gt;（予定）

4月21日（木）桑名市到着

4月22日（金）開会式、会議

4月23日（土）会議、討議に資する視察、交流行事

4月24日（日）会議

4月25日（月）県内分散型体験・交流行事

4月26日（火）会議、三重県送別行事、東京に移動

4月27日（水）政府首脳に成果文書提出（27日又は28日）、都内視察

4月28日（木）同上

4月29日（金）東京出発

## (2) 主会場 ナガシマリゾート（桑名市長島町浦安）

## (3) 主催：外務省、共催：伊勢志摩サミット三重県民会議

## (4) 視察、体験・交流先について

討議テーマに基づき、環境保全と経済成長を両立し、健全な環境を次世代に継承し、持続的な発展をする方策について議論するため、開催期間中

の4月23日午後、三重県ならではの討議テーマに関する視察を行うことが決定し、次の施設へ訪問予定です。

- ・赤須賀漁業協同組合（桑名市大字赤須賀86番21号）
- ・四日市公害と環境未来館（四日市市安島一丁目3番16号）
- ・NTN（株）先端技術研究所（桑名市陽だまりの丘5丁目105番）

また、討議日程終了後の4月25日、ジュニア・サミット参加者の皆さんが県内4コースに分散して各地を訪れ、三重の美しい自然や豊かな伝統・文化などを体験・体感するとともに、県内高校生をはじめ県民との交流を深めることが決定しました。

- ・Aコース 御在所ロープウェイ（菰野町）、鈴鹿サーキット（鈴鹿市）、関宿（亀山市）
- ・Bコース 深野だんだん田（松阪市）、まごの店（多気町）、一身田寺内町 専修寺（津市）
- ・Cコース 伊賀流忍者博物館（伊賀市）、赤目四十八滝（名張市）
- ・Dコース 伊勢神宮（伊勢市）、いつきのみや歴史体験館（明和町）

#### (5) 日本代表参加者の決定

日本代表については、外務省から三重県に対し、三重県内から選出するよう依頼があり、広く公募したうえで昨年12月に選考会を実施し、4名を選考するとともに、2月25日に発表しました。

- ・稲葉 陽樹 三重県立津高等学校 2年生 男子 津市在住
- ・加藤 杏弥 三重県立川越高等学校 2年生 女子 四日市市在住
- ・上堀内 陸王 私立東海高等学校（愛知県）1年生 男子 桑名市在住
- ・藤山 春衣 三重県立四日市高等学校 2年生 女子 四日市市在住

#### 4 今後の取組方針

- (1) ジュニア・サミットに日本代表として参加する高校生については、引き続き事前研修を行います。
- (2) 県内高校生等との交流を含む県内分散型体験・交流行事については、関係市町及び関係施設と実施に向けた調整を行っていきます。また、訪問先でのおもてなしや警備体制について、関係市町や関係施設に協力を依頼してまいります。
- (3) 開催日程を通して、県内高校生等と参加者の交流や、県内農業高校等による飾花活動等、少しでも多くの県内高校生が参画できるよう、引き続き外務省と協議します。
- (4) 開催に向け、参加者の歓迎や受け入れ等について、主会場となる桑名市をはじめ、県内の市町や関係者と緊密な連携を図っていきます。

## シンボルマークの作成について

## 1 目的

国によるロゴマーク（平成 27 年 12 月 28 日に決定）に先んじて、県民会議や県民会議の活動に賛同する多くの県民ができるだけ早期に、かつ自由に使用できる県民会議としてのシンボルマークを独自に作成し、広報活動に活用することで開催機運の醸成を図ります。

また、選定の考え方自体を県民会議の活動方針の象徴とし、県内外に強いメッセージを伝えていきます。

## 2 作成方法

## (1) 作成方針

シンボルマーク作成のプロセス自体に県民会議からのメッセージを込め、県内外に発信しました。

① 近藤敦也氏に作成を依頼（平成 27 年 8 月 21 日）

近藤氏は北勢きらら学園在校時の作品が平成 20 年の北海道洞爺湖サミットのロゴマーク公募で最優秀作として採用され、その後、筋ジストロフィーという難病を抱えながらも、夢であったグラフィックデザインの仕事に従事され、現在に至るまで継続的にデザインに関わっておられます。

同氏にシンボルマークを作成いただくことで、北海道洞爺湖サミットの経験を伊勢志摩サミットの成功と三重県の明日へつないでいく、また、多様な主体に参画いただくことを、県民会議からの強いメッセージとして発信します。

② シンボルマークの県民投票（平成 27 年 9 月 25 日～10 月 1 日）

県民会議の基本的な考え方である「さまざまな県民が準備段階から事業の企画に携わり、実施して、サミットに参画する」ということを実現するため、近藤氏に作成いただくシンボルマーク数案を、県民投票へかける機会を設けました。

※ 投票総数 3, 577 票

③ シンボルマークの県民会議会長、副会長、理事による投票  
（平成 27 年 10 月 2 日～10 月 5 日）

県民投票の結果、上位 2 案に対して県民会議会長、副会長、理事による最終投票を実施しました。

④ シンボルマークの決定（平成 27 年 10 月 13 日）

## 3 作成後の展開

## (1) 県民会議としての展開

名刺、広報用資料、ポスター、懸垂幕等幅広く展開します。

## (2) 協賛・応援事業としての展開

県内外の企業・団体・個人による応援事業や企業・団体からの協賛の枠組みを活用してシンボルマークを活用頂くことで、広く展開しています。

これまで応援事業として 263 件もの活用をいただいています。

※平成 28 年 3 月 18 日時点



平成28年3月29日  
伊勢志摩サミット三重県民会議事務局  
事業推進課

## 伊勢志摩サミットフォーラムについて

### 1 第1回伊勢志摩サミットフォーラム

(1) 日時 平成27年9月5日(土) 14:00~16:15 (開場 13:00)

(2) 場所 志摩市磯部生涯学習センター 多目的ホール

(3) 内容

ア 挨拶 鈴木伊勢志摩サミット三重県民会議会長(三重県知事)、大口志摩市長  
ビデオメッセージ 安倍内閣総理大臣

イ 講演「伊勢志摩サミットに期待すること」

講師 滝崎成樹氏(外務省大臣官房伊勢志摩サミット準備事務局長)

概要 サミットの概要や、三重県の情報発信・県民活動に対する期待についてご講演いただきました。国際メディアセンター及び三重県情報館(仮称)を活用して三重県を情報発信したり、ジュニアサミットの開催が決定すれば、小中高生が世界に目を向ける絶好の機会となるなどのお話をいただきました。

ウ トークセッション

スピーカー 山谷吉宏氏(北海道副知事)

ロビン・ハーディング氏(フィナンシャルタイムズ東京支局長)

江崎貴久氏(海島遊民くらぶ代表)

鈴木会長(三重県知事)

概要 3つのテーマ(サミット開催地から学ぶ、伊勢志摩の魅力とその発信、県民総参加への取組)に沿って、北海道洞爺湖サミットにおける住民参加の事例や、記者の目から見て一目で日本・三重県とわかる写真の重要性など、貴重な発言や提言をいただきました。

(4) 参加者

376名

うち一般参加者300名(満員)

うち報道・来賓・関係者等76名

(5) アンケート結果

ア 一般参加者300名中、160名から回答(回答率53.3%)

イ 伊勢市・鳥羽市・志摩市・南伊勢町からの参加者

51.0%

ウ フォーラムの内容について

「大変良かった」、「良かった」…99.3%

エ 「伊勢志摩サミット」への関心や、おもてなしへの参加意欲が深まったか、おもてなしへの参加のきっかけになったかについて

「大変そう思う」、「そう思う」…95.8%

オ その他、主な意見

- ・経験者や専門家からの話やアドバイスは非常に参考になった
- ・具体的な話なので非常にわかりやすく、不安が少し解消された
- ・どのように参画していくのかを考えさせられた など

## 2 第2回伊勢志摩サミットフォーラム

(1) 日時 平成28年1月16日(土) 13:00~15:45 (開場 12:00)

(2) 場所 鈴鹿医療科学大学 白子キャンパス 講堂

(3) 内容

ア 挨拶 鈴木伊勢志摩サミット三重県民会議会長 (三重県知事)、末松鈴鹿市長

イ 講演「伊勢志摩サミットのレガシーを生み出す“おもてなし”戦略とは」

講師 中村好明氏 (ドン・キホーテグループ株式会社 J I S 代表取締役社長)

概要・レガシーとは、「予めの人々の明確な意思や意図を持って残される財産」である。伊勢志摩サミットの効果をレガシーとするためには、8つのテーマ①シティアイデンティティ (地域の誇り)、②ホスピタリティ (世界に開かれたおもてなしの心)、③アフィニティ (同源性に由来する親近感、親和性)、④県内全域での英語接客の定着、⑤インバウンド分野での地域連携、⑥関係関係会合開催都市との連携、⑦MICE (国際会議等の総称) の振興、⑧インバウンド3.0 (すべての産業・人がインバウンドへ関与すること) が求められる。

・外国人観光客は日本の旅行を楽しみ、無形の思い出や有形のお土産物を本国へ持ち帰るので、インバウンドは外貨を稼ぐ“輸出産業”である。人ではなく、物の流れでとらえて欲しい。

・経済活動の「米仕事」(経済性を求める、つまり稼ぐための仕事のこと)と社会奉仕の「花仕事」(公共的・社会的視点で行う金銭的代価を超えた仕事のこと)の両方が公共哲学には必要だが、現在の日本は「米仕事」に集中している。持続的にインバウンドを進めるためには、双方のバランスが大切だ。

県民個々がどのような「花仕事」ができるのか?と考えてもらいたい。そして、伊勢志摩サミットの開催を通じ、47都道府県の先鋒として、インバウンド3.0の時代へ突入し、レガシーとしてもらいたい。

ウ トークセッション

スピーカー

山田文比古氏 (東京外国語大学教授)

ラース ニコライゼン氏 (ドイツ通信社東京支局長)

清水慎一郎氏 (清水清三郎商店株式会社代表取締役)

森川徹氏 (外務省大臣官房報道課長)

中村好明氏 (ドン・キホーテグループ株式会社 J I S 代表取締役社長)

コーディネーター

鈴木英敬会長 (三重県知事)

概要 いただきました貴重な発言や提言の一例は次のとおりです。

山田文比古氏「外国人も様々な方がいる。おしつけずに、柔軟性を持って対応することが肝要。最高と思っで行うおもてなしも、文化が違えば受け取り方も違うし、料理の味付けや提供する温度なども、食文化によって良し悪しが異なってくる。」

中村好明氏「食の情報発信に、新しいインセンティブ（普段入れないところで食事ができるなど＝ユニーク・ベニュー）を付加させると、顧客の満足度も高まり、話題性が出る。」

(4) 参加者

690名

うち一般参加者600名（定員600名）

うち県議会議員・報道・関係者等90名

(5) アンケート結果

ア 一般参加者600名中、282名から回答（回答率47%）

イ 鈴鹿市・北勢地域からの参加者 43.1%

ウ フォーラムの内容について

「大変良かった」、「良かった」…97.1%

エ 「伊勢志摩サミット」への関心や、おもてなしへの参加意欲が深まったか、おもてなしへの参加のきっかけになったかについて

「大変そう思う」、「そう思う」…95.3%

3 第3回伊勢志摩サミットフォーラム

(1) 日時 平成28年4月16日（土）13時00分～15時45分（開場12時00分）

(2) 場所 三重県総合文化センター中ホール（津市一身田上津部田1234）

(3) 内容

ア 挨拶 鈴木伊勢志摩サミット三重県民会議会長（三重県知事）、前葉津市長

イ 講演 「英国人アナリスト、三重の未来と語る」

講師 デービッド・アトキンソン氏（株式会社小西美術工藝社代表取締役社長）

ウ トークセッション「世界とつながる、三重の未来」

スピーカー

高野秀行氏（ノンフィクション作家）

田中里沙氏（株式会社宣伝会議取締役副社長・編集室長）

寺岡夕里氏（東北大学大学院生）

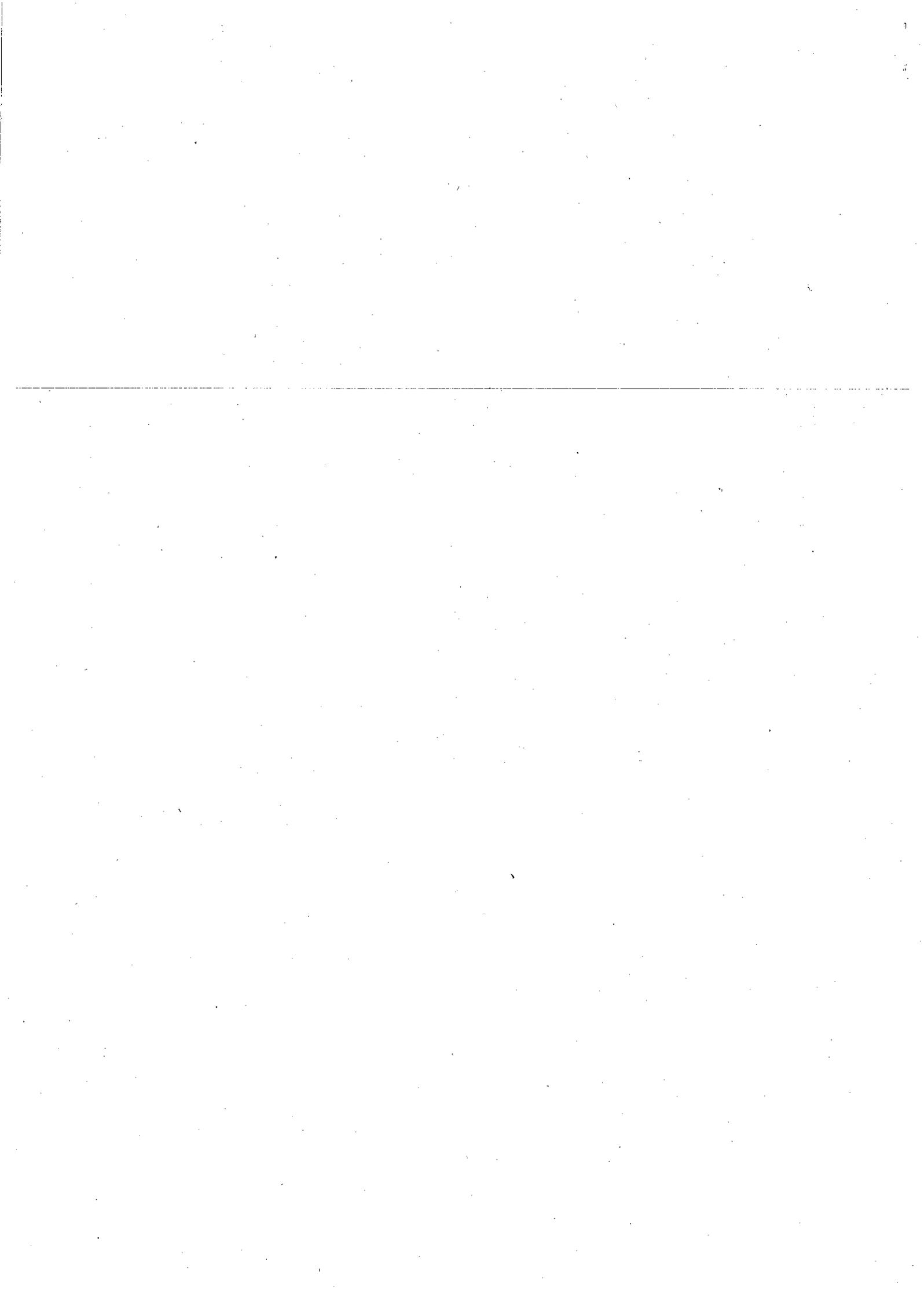
デービッド・アトキンソン氏

コーディネーター

鈴木英敬会長（三重県知事）

エ 平井堅さん・スペシャルステージ

(4) 定員 650名（事前申込制・先着順）



平成28年3月29日  
伊勢志摩サミット三重県民会議事務局  
開催支援課

## 県産食材等の利用促進に向けた取組について

### 1 目的

伊勢志摩サミット開催を契機とし、質の高い県産食材等のPRを行うことで、需要拡大及び販売促進につなげていく。

### 2 基本的な考え方

全県をあげて、質の高い県産食材等をリストアップし、サミットにおける国の公式プログラムやレセプション等のほか、プレスツアー等の行事の食事メニューにおいて採用されるよう、県産食材等の活用を国や関係ホテル等に対して積極的に提案していく。

### 3 取組状況

10月9日（金）に、知事から外務省に対し、積極的に県産食材等を活用されるよう以下のリストを提出し要望を行った。

- ・食 材：各市町から提出された推薦食材を集約してリストを作成。
- ・加工品：県内に主たる事業所がある事業者が製造又は加工した食品や、江戸時代以前から県内で製造・販売されている餅菓子について公募を行い、みえセレクション選定品を含め、審査会を経てリストを作成。
- ・日本酒：関係機関と調整のうえ、全国新酒鑑評会で受賞された日本酒をはじめ、三重県に存する蔵元が奨める日本酒をとりまとめリストを作成。

外務省への要望後は、ホテル・旅館への提案活動を実施している。

※志摩市、鳥羽市のホテルを中心に雇用経済部、農林水産部と協同し、上記のリストを持参しての提案活動を実施中。

同時に、12月1日及び2月17日に、農林水産部が主催する「三重の食材を知る会」への参加も呼び掛け、活用の推進を促している。

海外プレスツアー等において、県産食材を利用した食事会を開催するとともに、警備関係者等を対象とする弁当供給業務においても、供給事業者への働きかけにより、県産米及び県産食材を積極活用した弁当を製造させた。

### 4 今後の進め方

各国の宿泊ホテル決定後に、第2回の提案活動を予定しており、積極的な採用を提案していく。



平成28年3月29日  
伊勢志摩サミット三重県民会議事務局  
開催支援課

## 弁当供給体制の整備について

### 1 目的

伊勢志摩サミットの開催に際して、警備、消防、医療、現地スタッフ等に対し、県産食材を活用した安全・安心かつ美味しい食事を大量に継続して提供する。

### 2 取組内容

#### (1) 業務内容

弁当の受注、製造、配送及び空容器の回収

#### (2) 取扱対象者

警備関係者、消防関係者、医療関係者、現地スタッフ等を想定

#### (3) 整備する供給体制

- ①屋外保管を前提とする大規模かつ継続的な弁当需要（以下、「大規模需要」）への対応〔供給期間：3月下旬～5月下旬〕
- ②屋内保管を前提とする比較的小規模かつ短期・不定期的な弁当需要（以下、「小規模需要」）への対応〔供給期間：主に5月中旬～下旬〕

### 3 大規模需要への対応について

#### (1) 実施事業者の選定

企画提案コンペにより以下のとおり決定しました。

受託事業者（平成28年1月25日公表）

- ・A地区：志摩市（最大想定供給数 21,000 個/日）  
株式会社ローソンを代表とする4社による共同事業体  
構成員：オーケーズデリカ株式会社（県内弁当製造事業者）、株式会社キャリアカーサービス（県内運送事業者）ほか
- ・B地区：伊勢市、鳥羽市、津市ほか（最大想定供給数 5,000 個/日）  
株式会社セブン-イレブン・ジャパンを代表とする9社による共同事業体  
構成員：プレミアムキッチン株式会社（県内弁当製造事業者）ほか

#### (2) 県内事業者の参画

事業者選定にあたっては、仕様書に、県内弁当製造事業者を一社以上含めることを参加資格にするとともに、配送事業者等についても可能な限り県内事業者を多く参画させるよう規定し、その参画度合を選定の評価基準の一つとすることで、県内事業者の参画を確保しました。また、より多くの県内事業者の参画を図るため弁当の配送場所を2地区に分けることとしました。

#### (3) 食品衛生管理体制

万全の食品衛生管理体制が確保できることを最重要方針とし、弁当の製造過程において、HACCP及び大量調理施設衛生管理マニュアルに基づく衛生管理を実施するとともに、提供する弁当について、屋外で保管されることを想定

し、三重県が定める食品の衛生管理指標の目標値の達成及び異物混入対策として金属探知機での検査等を求めています。

供給開始後も、月2回程度の監視指導を実施します。

#### (4) 県産食材の活用

県産米を使用するとともに、その他の県産食材についても、可能な限り使用に努めるよう企画提案コンペの仕様書に規定しました。実施事業者決定後、県農林水産部と連携して県民会議の方から食材及びメニューの提案を行うなど、県産食材の活用促進に努めた結果、県産食材をふんだんに使用した弁当が本業務のために開発され、今後供給される予定です。

#### (5) スケジュール

平成27年10月30日	企画提案コンペ	公募開始
11月30日	企画提案コンペ	公募締切
12月10日	プレゼンテーション・ヒアリング審査	
	最優秀提案決定	
	食品衛生状況確認、業務内容協議・確定	
平成28年 1月25日	協定書締結・受託事業者公表	
3月22日	弁当完成知事報告会 (A地区の弁当の試食会)	
3月末	弁当供給開始	
5月末	弁当供給終了	

### 4 小規模需要への対応について

#### (1) 方針

比較的小規模かつ短期・不定期な弁当需要に対しては、地元の小規模な弁当製造事業者による供給が行えるよう、需要が発生するそれぞれの地域の商工団体等との連携・協力を基に、両者のマッチングを促進していきます。

#### (2) 弁当需要量の把握

宿泊予約センターと連携し、食事の提供に課題のある宿泊施設について情報共有を図るとともに、通信・電力等の支援事業者に聞き取りを行い、期間・地区ごとに発生する弁当需要量の把握に努めます。

#### (3) 弁当供給事業者の把握

各地域の商工団体等を通じて、弁当供給の意向や適性のある事業者及び供給可能な数量を把握します。弁当供給にあたっては、所管保健所の協力により、事業者の食品衛生状況の確認を行います。

#### (4) マッチング

県民会議によるサミット開催支援の取組の中で得られる弁当の需要と供給に関する情報を相互に提供することでマッチングを行います。実際の受発注や精算業務は事業者間（もしくは供給側の取りまとめを行う商工団体等と需用側事業者間）で直接行います。

## (5) 関係市の現状

### ア 志摩市

志摩市商工会が中心となって、市内の弁当製造事業者による会を自主的に組織し、サミットにおける弁当供給のための準備に取り組んでいます。

- ①名称：志摩市弁当協力会
- ②設立日：平成28年2月19日（金）
- ③会員数：17事業者（全て志摩市内の弁当製造事業者）
- ④目的：志摩市内の弁当提供事業者の保護・育成と市内で開催される各種事業に対し必要な弁当を合理的かつ適正に納入すること

#### ⑤弁当供給に向けた調整状況

サミット関係者に対して弁当の供給が行えるよう、期間、個数、配送場所、料金等について、調整を進めています。

#### ⑥その他

- ・サミット限定の組織ではなく、サミット後も見据えた組織として設立されました。
- ・昨年12月には、設立準備会の事業として、衛生講習会を開催しています。

### イ 伊勢市及び鳥羽市

伊勢市及び鳥羽市においては、商工会議所が中心となって、弁当供給業務を行う候補となる事業者の取りまとめを進めています。

## (6) 今後のスケジュール

平成28年3月末	弁当需要量・弁当供給事業者の把握
	両者のマッチング
5月～	弁当供給



平成 28 年 3 月 29 日

伊勢志摩サミット三重県民会議事務局  
事業推進課

## おもてなし大作戦について

### 1 「おもてなし大作戦」として展開

伊勢志摩サミットの開催にあたって三重県を訪れる方々に、県民の歓迎の意を表現するとともに、一人でも多くの県民が来訪者歓迎に関わることにより、サミットに向けた機運醸成や参加意識の向上を図るため、県民参加型の「おもてなし大作戦」を展開する。

「おもてなし大作戦」は、「クリーンアップ作戦」と「花いっぱい作戦」の2つの取組で構成するものとし、両取組を連携させて展開することで、おもてなしに向けた県民運動の一体感を醸成するとともに、運動の訴求力と発信力の向上を図る。

### 2 方針

- (1) 一人でも多くの県民の方々に参加していただけるよう、市町や自治会、関係団体・企業の実施している活動を生かして拡大し、全県的な取組として展開する。
- (2) 展開に当たっては、県内の関係団体や企業等の協賛・応援も得て、多様な主体が参画して支える運動とする。
- (3) 「おもてなし大作戦」の統一デザインを活用し、看板、横断幕、のぼり、花壇プレートなどを制作し、視覚的統一感を図り、運動としての盛り上がりをわかりやすく表現し、訴求力と発信力の向上を図る。

### 3 「おもてなし大作戦」キックオフイベントの開催

サミット開催に向けて県民一人一人の皆さんにおもてなしの心を持って県全体に取り組んでいくことをPRするとともに、サミットに向けた機運の醸成や一体感の構築を図るため、伊勢志摩サミット「おもてなし大作戦」キックオフイベントを開催した。

#### (1) 開催日時

平成28年2月14日（日）8時から11時まで

#### (2) 開催場所

阿児ふるさと公園芝生広場：志摩市阿児アリーナ横

（志摩市阿児町神明1074番地14）

#### (3) 内容

##### ① キックオフセレモニー（8時～8時30分）

鈴木知事、大口志摩市長、山崎三重県自治会連合会会長をはじめ、県民、企業、団体など多様な主体が集結してキックオフ宣言を行った。直前までの雨にも関わらず、県民、団体、企業関係者ら約700名の参加となった。

また、1月26日にみえの国観光大使に就任いただいた元バドミントン選手で三重県川越町出身の小椋久美子さんが「おもてなし大使」として任命された。

##### ② 交流会等（8時30分～11時）

「おもてなしPRタイム」として、おもてなし大作戦に協力をいただいている企業、団体に活動のPRを行っていただいた後、小椋久美子さんによるトークショー、おた

のしみじゃんけん大会を実施した。

【おもてなしPRタイム出演企業・団体】

イオンリテール（株）

ガールスカウト三重県連盟

「小さな親切」運動三重県本部

井村屋グループ（株）

中部電力（株）

#### 4 クリーンアップ作戦

キックオフイベント開催の2月14日からサミット開催直前の平成28年5月下旬までの間、各市町や自治会をはじめ、企業、団体等による全県的なクリーンアップ活動の展開を目指す。

##### (1) 市町における展開

三重県自治会連合会と市町との連携などにより、100日前ウィーク周辺日（2月9日～2月23日）には延べ15市町においてクリーンアップ活動が実施された。

クリーンアップ作戦を推進するため、今後も引き続き地域におけるクリーンアップ活動の実施について市町へ協力を求めていく。

##### 【各市町の実施状況（予定を含む）】

月日	活動市町	備考
2.10～2.17	津市	公共施設のトイレの清掃・点検
2.14	四日市市	自治会、商工会議所等によるクリーンアップ活動
3.12	四日市市	鈴鹿川クリーン作戦
2.14	伊勢市	伊勢志摩サミットおもてなし会議によるクリーンアップ活動
5.7	伊勢市	伊勢志摩サミット伊勢おもてなし会議によるクリーンアップ活動
5.16	伊勢市	自治会によるクリーンアップ活動
2.17	松阪市	自治会によるクリーンアップ活動
5.22	松阪市	自治会によるクリーンアップ活動
3.5	桑名市	ジュニア・サミット桑名市民会議によるクリーンアップ活動
4.11	桑名市	自治会によるクリーンアップ活動
4.16	桑名市	自治会によるクリーンアップ活動
2.14	鈴鹿市	自治会によるクリーンアップ活動
3.26	鈴鹿市	白子公民館
4.2	鈴鹿市	自治会によるクリーンアップ活動
4.3	鈴鹿市	自治会によるクリーンアップ活動
4月中旬～5月下旬	鈴鹿市	自治会、団体等によるクリーンアップ活動
4.28	鈴鹿市	一宮公民館
5.17	鈴鹿市	郡山公民館
5.27	鈴鹿市	清和公民館
5.15	名張市	名張クリーン大作戦2016

2. 14	尾鷲市	自治会によるクリーンアップ活動
5月上旬～中旬	尾鷲市	職員によるクリーンアップ活動
2. 14	亀山市	自治会によるクリーンアップ活動
5. 15	亀山市	イベント開催時（里山公園みちくさ）におけるクリーンアップ活動
3. 13	亀山市	地区衛生組織連合会によるクリーンアップ活動
2. 7～2. 21	鳥羽市	伊勢志摩サミット100日前クリーンアップキャンペーン
2. 14	鳥羽市	自治会によるクリーンアップ活動
2. 16	鳥羽市	市庁舎周辺のクリーンアップ活動、観光協会によるクリーンアップ活動
4. 12	鳥羽市	観光協会加盟会員によるクリーンアップ活動
4. 17	鳥羽市	鳥羽清港会（第39回海の大掃除）
4月～5月	鳥羽市	自治会によるクリーンアップ活動
5月中旬	熊野市	七里御浜海岸清掃
5. 14	いなべ市	職員によるクリーンアップ活動
2. 14	志摩市	伊勢志摩サミット市民会議によるクリーンアップ活動
4. 17	志摩市	賢島クリーンアップウォーキング
2. 16	伊賀市	職員によるクリーンアップ活動
4. 6	伊賀市	職員によるクリーンアップ活動
2. 28	木曾岬町	木曾岬スポーツ少年団によるクリーンアップ活動
4. 24	東員町	町内各主体によるクリーンアップ活動
3. 20	菰野町	菰野町クリーン大作戦
5. 15	朝日町	自治会によるクリーンアップ活動
4. 6	川越町	川越町工業団地連絡協議会によるクリーンアップ活動
2. 14	多気町	町内各所におけるクリーンアップ活動
5. 15	多気町	自治会によるクリーンアップ活動
4. 10	大台町	町民によるクリーンアップ活動
4. 3	度会町	春祭開催時におけるクリーンアップ活動
5. 15	大紀町	町民によるクリーンアップ活動
2. 14	南伊勢町	自治会によるクリーンアップ活動
2. 21	南伊勢町	自治会によるクリーンアップ活動
2. 28	南伊勢町	自治会によるクリーンアップ活動
4. 23	南伊勢町	町内各主体によるクリーンアップ活動
2. 14	紀北町	自治会によるクリーンアップ活動
5. 22	紀北町	自治会によるクリーンアップ活動

## （2）企業、団体等における展開

企業、団体等への協賛・応援事業への参加の呼びかけを行うことにより、応援事業としてクリーンアップ活動を実施していただくとともに、協賛事業として資材・物品等での提供等で協力をいただく。

※協賛いただいた清掃用資材、飲料等については市町のクリーンアップ活動用に配布する。

### 【協賛、応援事業の例】

提案者名	内容
三重トヨタ自動車株式会社	清掃用資材の提供ほか
「小さな親切運動」三重県本部	小中学校や企業等とともに環境美化活動を実施
百五銀行「小さな親切」の会	百五銀行行員 3,000 名による環境美化活動を実施
公益社団法人「小さな親切」運動本部	全国で実施する「日本列島クリーン大作戦」をサミット開催時期に合わせて告知
(株) 百五銀行	鳥羽市、志摩市における清掃活動の実施
J Aグループ三重	伊勢茶ペットボトルの提供
(株) 第三銀行	店舗周辺での清掃活動の実施
(株) 三重銀行	志摩市、四日市市での清掃活動の実施
三重県生活衛生同業組合連合会	約 100 名によるクリーンアップ活動への参加
アサヒ飲料株式会社中部北陸支社	清涼飲料水の提供
有限会社森と水を守る会	森の番人の提供
ココロライーストジャパン (株)	清涼飲料水の提供
井村屋グループ (株)	ふるまいぜんざいの提供
イオンリテール (株)	キックオフイベントでの駐車場の提供
サンヨー食品 (株)	三重亀山ラーメンの提供
日本たばこ産業 (株)	イベント会場への灰皿提供
三重県産業廃棄物協会	伊勢志摩地域の産業廃棄物不法処理防止パトロール及び不法投棄撤去作業の実施
三重県産業廃棄物対策推進協議会	答志島奈佐の浜での伊勢湾漂着ゴミ海岸清掃活動の実施
(株) 伊藤園	宮川河川沿い清掃活動の実施「お茶で三重を美しく」キャンペーンを実施し、サミット前の「伊勢湾再生」等の環境保全活動に貢献
(株) ダスキン東海・北陸地域本部	サミット応援商品の販売イベントの実施、クリーンアップ活動の実施
J Aグループ三重	「伊勢志摩サミット開催記念第 9 回美し国三重市町対抗駅伝」走路・沿道の清掃活動の実施
(株) 柿安本店	月に 1～2 回クリーンアップ活動を実施する「カウントダウンプロジェクト」を実施
中部電力 (株) 三重支店	2月16日に清掃活動を実施

### (3) 三県一市との連携事業

平成 20 年度より三県一市で実施している「伊勢湾 森・川・海のクリーンアップ大作戦」において、サミット開催 50 日前ウィークに併せて実施してもらえよう、各県市の実施団体に参加を呼び掛けている。(総務課広報・渉外チーム、大気・水水質課)

#### 4 花いっぱい作戦

各種活動団体（NPO、ボランティア、サークル等）、個人、学校、市町、自治会、生産者、企業等多様な主体の活動を生かし、「花いっぱい作戦」として集約することで、4月から5月下旬までの開花・飾花をめざして活動する。

また、サミット開催前の50日前ウィーク前後に「花いっぱい作戦」のアクションスタートとして、スタートセレモニーを実施するとともに、県内10カ所で花の寄せ植え体験講座を開催し、幅広い層のサミットへの歓迎機運及び参加意識の向上を図る。

さらに、「おもてなし大作戦」の統一デザインを活用したピックを市町や小中学校、県民会議会員へ配布し、県民への花いっぱい作戦への参画を推進するとともに、応援事業として提案いただいているホームセンターの店舗内に「伊勢志摩サミット開催記念」花いっぱいコーナーを設置いただくことで、花いっぱい運動の県民への情報拡散拠点として位置づけ、個人レベルでの参画も促進する。

##### (1) 伊勢志摩サミット「花いっぱい作戦」スタートセレモニー

###### ①日時

4月2日（土）14時～15時30分（サミット開催50日前ウィーク）

###### ②会場

桑名市総合福祉会館 大会議室（桑名市常盤町51）

※300名程度収容可能

ジュニアサミット会場である桑名市においてスタートセレモニーを開催することで、ジュニアサミット開催を盛り上げるとともに、サミット開催に向けた全県的な県民運動の盛り上げにつなげる。

###### ③内容案

###### 【スタートセレモニー】

知事やおもてなし大使による挨拶等

###### 【高校生が作成した花苗プランターの贈呈式】

農業高校の生徒が作成した花をジュニアサミット会場の代表者等へ贈呈

###### 【花の寄せ植え体験の特別講座の開催】

知事やおもてなし大使等による花の寄せ植え等

###### 【おもてなしPR第2弾（第1弾は2月14日のキックオフイベントで実施）】

「おもてなし大作戦」への参加企業、団体等による取組発表

###### 【振る舞い】

協賛事業等を活用した振る舞いについても検討する

##### (2) 伊勢志摩サミット「花いっぱい作戦」寄せ植え体験講座

各県庁舎10カ所で1日2回実施し、参加者数は総計で1,000人を想定

###### ①日程・会場（各県庁舎）

平成28年4月2日（土）伊勢、伊賀

平成28年4月3日（日）桑名、志摩、熊野

平成28年4月9日（土）四日市、鈴鹿

平成28年4月10日（日）津、松阪、尾鷲

###### ②内容

###### 【講座内容】

サミット開催時に華やかに咲き誇る三重県で生産された花による寄せ植えを作り、「おもてなし大作戦」の統一デザインを活用したピックを挿してサミット記念フラワーとする。

参加者は、寄せ植えを2鉢作成し、1鉢は自宅へ持ち帰り、残りの1鉢については、各県庁舎へ設置（県庁舎で対応できない場合は小学校等）いただき、サミットに向けた機運醸成を図るものとする。

【講師】 講師は、日本ハンギングバスケット協会三重県支部のマスターがあたる。

### (3) スタートセレモニー以降の展開

スタートセレモニーからサミット開催直前の平成28年5月下旬までの間、各市町、企業、団体等による全県的な花いっぱい作戦の展開を目指す。

#### ①市町における展開

市町は、庁舎や公園、花壇等関係施設への飾花を行うなど花いっぱい作戦を推進するとともに、地域における活動団体の活動を集約することなどにより、花いっぱい運動の支援等で協力をいただく。

現在、県民会議ではサミット開催時（5月下旬）に開花する花苗約8万苗を市町における花いっぱい作戦の展開用に確保しており、4月中に市町及び市町関係団体へ希望数を配布する予定。

「おもてなし大作戦」の統一デザインを活用したピックを市町へ配布し、花苗配布と同時にピックも配布する。さらに、小中学校や県民会議会員へも配布し、花いっぱい活動の推進に役立てていただく。

#### 【市町の活動状況】 ※3月11日現在回答済分

実施時期	市町	場所
H28.4 上旬	津市	本庁及び各総合支所
H28.4 中旬	津市	津なぎさまち内旅客船ターミナル周辺
H28.4 下旬	津市	津市本庁舎
H28.4 下旬	津市	まん中広場
H28.4 下旬	津市	国道163号線沿い
H28.4 下旬	四日市市	四日市中央線他
H28.4 中旬	四日市市	四日市市民公園
H28.4 中旬～5 末	伊勢市	河崎川の駅
H28.4 中旬～5 末	伊勢市	倉田山公園
H28.4 中旬～5 末	伊勢市	有緝小学校
H28.4 中旬～5 末	伊勢市	宇治浦田町おはらいまち
H28.4 中旬～5 末	伊勢市	鹿海町 祭典場
H28.4 中旬～5 末	伊勢市	河崎川の駅
H28.4 中旬～5 末	伊勢市	東大淀地内
H28.4 中旬～5 末	伊勢市	宮後町地内
H28.4 中旬～5 末	伊勢市	JR 二見駅前
H28.4 中旬～5 末	伊勢市	宮川2丁目周辺
H28.4 中旬～5 末	伊勢市	うぐいす台入り口花壇

H28. 4 中旬～5 末	伊勢市	浜郷地区内
H28. 4 中旬～5 末	伊勢市	小俣町地内
H28. 4 中旬～5 末	伊勢市	坂社前
H28. 4. 9	伊勢市	宇治浦田町おほらいまち
H28. 5. 7	伊勢市	朝熊山麓公園花の広場
H28. 3. 5	桑名市	桑名駅等
H28. 4. 24 予定	尾鷲市	紀望通り、銀杏通り、北川右岸
H28. 4. 6	尾鷲市	尾鷲市役所前
H28. 5 上旬	尾鷲市	坂場銀杏町線沿い
H28. 4. 1～5. 5	熊野市	熊野市内一円協力家庭等
H28. 4. 16	熊野市	熊野市井戸町
H28. 5. 8	木曾岬町	木曾岬町役場
H27. 12	東員町	東員町役場
H28. 4	東員町	東員町内
H28. 4	朝日町	各自治区
H28. 4～H28. 5	川越町	庁舎
H28. 4～H28. 6	川越町	川越富洲原駅前広場
H28. 4	多気町	五桂池ふるさと村
H28. 4	多気町	ふれあいの館
H28. 4	多気町	元丈の館
H28. 4. 17	明和町	さいくう平安の杜
H28. 4 下旬	大台町	上真手地内
H28. 4 下旬	大台町	神瀬地内
H28. 4 下旬	大台町	役場周辺
H28. 4 下旬	大台町	柳原地内
H28. 4 下旬	大台町	栃原地内
H28. 4 下旬	大台町	千代地内
H28. 4 下旬	大台町	上三瀬地内
H28. 4	玉城町	玉城町内
H28. 4	玉城町	玉城町内
H28. 4	玉城町	玉城町内
H28. 4	度会町	度会町内
H28. 4. 14 以降	大紀町	各小中学校
H28. 4. 14 以降	大紀町	各保育園
H28. 4. 14 以降	大紀町	本庁及び支所等
H28. 4. 14 以降	大紀町	各地域
H28. 4 中下旬	紀北町	紀北町役場
H28. 4 中旬	御浜町	御浜町役場
H28. 4 中旬	御浜町	県道（御浜紀和線）沿い

## ②企業・団体等における展開

企業、団体等は、協賛、応援事業の枠組みを活用するなど、花を植える活動や飾る活動、物品の提供等で協力をいただく。

なお、応援事業として提案いただいているホームセンター等の店舗内に「伊勢志摩サミット開催記念」花いっぱいコーナーを設置いただくことで、花いっぱい運動の県民への情報拡散拠点として位置づけ、個人レベルでの参画も促進する。

例) サミット開催で注目される場所、人が集まりやすい場所での飾花（宿泊施設、商業施設、駅構内、高速道路SA・PA、フェリー乗り場等）や、種、苗、用土、資材、栽培施設の貸与、栽培管理、技術・ノウハウ等の提供、花いっぱいコーナーの設置等

### 【協賛、応援事業の例】

提案者名	内容
(株) 三重興農社	飾花用のプランターの提供
(株) 百五銀行及び百五銀行「小さな親切の会」	サミット開催日・応援ロゴマーク等を印刷したコスモスの種袋20,000袋を県内外の百五銀行本店・支店・出張所窓口で配布
花の国づくり三重県協議会	プランター作成や花壇装飾をする場合の講師役、主要駅における装飾が可能な場合の装飾、各国の記念樹を植樹する場合の補助
三重県花植木振興会	駅、市町役場等におけるサミット記念の飾花等
(有) お花ちゃん生花店	応援装飾、玄関装飾、テーブル花等の提供
公益社団法人三重県緑花推進協会	春季緑化運動の中で花いっぱい運動を実施し、資材費・花壇・プランターを支援
中日本高速道路株式会社名古屋支社	SA、PAの商業施設周辺にお花の飾り付けを行う
中日本エクスプレス株式会社名古屋支店	SA、PAの商業施設周辺にお花の飾り付けを行う
(株) コメリ	店舗内に「伊勢志摩サミット開催記念」花いっぱいコーナーの設置
クラギ(株)	店舗内に「伊勢志摩サミット開催記念」花いっぱいコーナーの設置
東員花卉くらぶ	県民会議シンボルマークをデザインした花壇の設置

平成 28 年 3 月 29 日  
伊勢志摩サミット三重県民会議事務局  
事業推進課

## ホームページ・SNSの運営について

### 1 目的

ホームページ、SNSについては随時情報を公開することが可能であり、速報性に優れていることから、このメリットを生かし、県民会議の取組に関する情報などの適切な時期での発信に取り組んでいきます。

### 2 事業の概要

平成 28 年 2 月 17 日、それまで運用していたホームページをリニューアルしました。当該リニューアルは、株式会社 F I X E R に協賛いただきました。それ以降の運営及び管理については、事務局自身で対応することも可能であったものの、サイバー攻撃等有事の対応等を踏まえ、制作者である F I X E R に委託しています。

### 3 取組方針

#### (1) HP

「国内在住の方」及び「海外からサミット取材に訪れるプレス」を対象に発信していくため、当該HPはサミット主要 7ヶ国（5ヶ国語）対応とします。

- ・ 国内向けには、県民会議の取組、協賛・応援・寄附の周知と依頼、各種規制情報、宿泊予約案内、三重県概要等を発信
- ・ 海外プレス向けには、三重県での滞在に関する情報や広報用資料などを掲載する予定です。

#### (2) SNS

県民会議の取組などを随時、発信していきます。

### 4 今後の進め方

引き続き、適切な時期での情報発信に努めていきます。



平成28年3月29日  
伊勢志摩サミット三重県民会議事務局  
事業推進課

## 伊勢志摩サミット三重県民会議公式ポスターの展開について

### 1 目的

三重県で開催される主要国首脳会議の成功に向け、多くの方に伊勢志摩サミットをPRするための第1弾ポスター、県民会議のシンボルマーク決定を告知する第2弾ポスターを制作した。また、高品質なポスターデザインとするため、第3弾、第4弾はデザインを公募し、それぞれ「おもてなしの心」と「三重の魅力の発信」をテーマにポスターを制作した。サミット開催への期待感と「おもてなし」「明日へつなぐ」「三重の発信」への県民の意識の醸成を図っている。

今後、サミット終了後に第5弾ポスターを制作する。

### 2 ポスターシリーズの基本構成

開催機運と県民意識の醸成を表現するため、「起・承・転・結」の構成とする。

第1弾 「起」：サミットが伊勢志摩で開催されることをPRし、期待感を醸成

第2弾 「承」：県民会議の象徴となるシンボルマーク決定告知

★第3・4弾 「転」：ポスターの公募

第5弾 「結」：「明日へつなぐ」をテーマに、県民のこれまでの活動を振り返りサミット終了が新たなスタートとなることを訴求

### 3 第4弾ポスター発表、表彰式

(1) 日時：平成28年3月16日(水) 14時30分～15時00分

(2) 場所：三重県庁3階 プレゼンテーションルーム

(3) 表彰者

(最優秀賞受賞者)

三重県津市 積木 孝典 さん グラフィックデザイナー

(優秀賞受賞者)

三重県津市 坂倉 亮子 さん グラフィックデザイナー

愛知県名古屋市 安藤 真理 さん グラフィックデザイナー

愛知県名古屋市 秀島 康修 さん グラフィックデザイナー

(県民会議)

鈴木 英敬 伊勢志摩サミット三重県民会議会長・三重県知事

西城 昭二 伊勢志摩サミット三重県民会議事務総長

(4) 掲出時期 3月下旬から順次掲出予定(開催50日前ウィークを想定)

#### 4 ポスターデザインのスマートフォンの壁紙利用によるPR

これまでに制作した公式ポスターのデザインに高い評価を得ており、更なる活用方法を検討した結果、県民の皆さんのスマートフォンの壁紙に表示していただくことで現行のポスター掲出と併せて一層のPRにつなげていく。

(1) ポスターデザインのサイズ：1,334 x 750 ピクセル (iPhone6s を基本に調整。)

※機種や端末の設定により、一部正しく表示されない場合や表示できない場合がある。

(2) 入手方法

スマートフォンから、県民会議ホームページにてポスターデータをダウンロードし、壁紙として設定していただく。

(3) スマートフォン用ポスターデザイン

別紙のとおり。

#### 5 県民会議公式ポスター公募原画展の開催

応募者の皆さんの力作を県民の皆さんにご覧いただきたく、応募作品の原画展をイオングループの協賛により下記のとおり開催する。

(1) 展示するポスター及び内容

(第3弾) テーマ：「サミット開催に向けてのおもてなしの心」

応募数：22作品 (うち展示予定15作品)

(第4弾) テーマ：「三重から世界へ (三重の魅力の発信)」

応募数：31作品 (うち展示予定30作品)

応募いただいた作品と併せて、制作にあたっての本人のコメントを展示する。

(2) スケジュール

- ・ 3月24日 (木) ～ 3月27日 (日) イオン津ショッピングセンター
- ・ 4月 1日 (金) ～ 4月 3日 (日) イオンモール鈴鹿
- ・ 4月 8日 (金) ～ 4月10日 (日) イオン名張店
- ・ 4月15日 (金) ～ 4月17日 (日) イオンモール東員
- ・ 4月22日 (金) ～ 4月24日 (日) イオンモール桑名
- ・ 4月29日 (金) ～ 5月 1日 (日) イオンモール四日市北
- ・ 5月 6日 (金) ～ 5月 8日 (日) イオンモール明和
- ・ 5月13日 (金) ～ 5月15日 (日) イオン伊勢店
- ・ 5月20日 (金) ～ 5月22日 (日) イオン鳥羽店
- ・ 5月27日 (金) ～ 5月29日 (日) イオン阿児店

(6月以降についても展示施設及びスケジュールを調整中)

(3) 主催・協力

主催：伊勢志摩サミット三重県民会議 ・ 協力：イオングループ

第1弾



# 伊勢志摩

2016年主要国首脳会議 三重県で開催!

# サミット2016

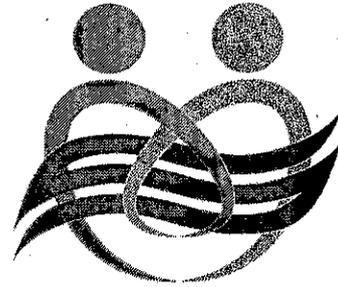


5月26日・27日

「日本の繁栄と国際社会の発展」  
「日本の未来と国際社会、世界の未来、美しい国」  
「日本の発展に貢献している人々」  
「世界をリードする人々」

伊勢志摩サミット 三重県民会議

第2弾



## 伊勢志摩サミット 三重県民会議

手を繋ぐ2人で、次世代へのつながりを表現しています。  
彼等は、世界の人々と三重県の人々のつながりのタスキを  
表現しています。サミットで培われたあたたかなつながりを  
次世代へ受け継いでいこうという決意を込めています。

2016年5月26・27日開催

## 伊勢志摩サミット



第3弾

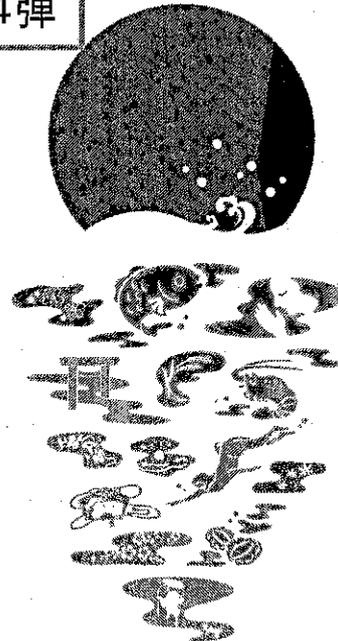


## 伊勢志摩サミット

ISE-SHIMA SUMMIT

2016.5.26・27開催

第4弾



## 伊勢志摩サミット

ISE-SHIMA SUMMIT

2016年5月26・27日開催



平成28年3月29日

伊勢志摩サミット三重県民会議事務局  
事業推進課

## カウントダウンボード、ノベルティを活用したPR展開について

## 1 目的

伊勢志摩サミットに向けて、応援事業も活用しながら県内外の各地にカウントダウンボードを設置することで、歓迎機運の盛り上げを図ります。また、伊勢志摩サミットの開催を幅広く周知するため、各種PRツールを作成し、節目イベントや様々な会議等において積極的に活用します。

## 2 取組内容

## (1) カウントダウンボードの設置

200日前、150日前、100日前などの節目を中心に、応援事業として企業等のご協力もいただきながら、カウントダウンボードを設置しました。

## ① 200日前(11/8)ウィークに設置：361台

- ・県民会議による設置 82台
- ・応援事業による設置 279台

## ② 200日前ウィーク以降に設置：107台

- ・応援事業による設置 107台

## ③ 150日前(12/28)ウィークに設置：61台

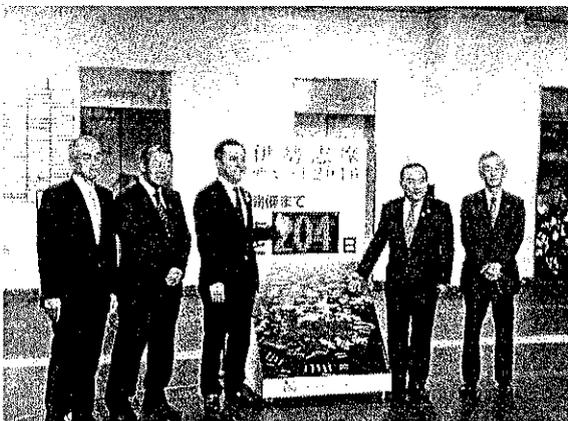
- ・県民会議による設置13台
- ・応援事業による設置48台

## ④ 100日前(2/16)ウィークに設置：7台

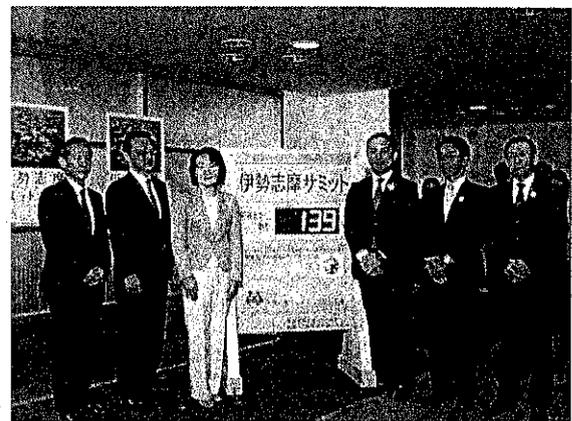
- ・県民会議による設置6台
- ・応援事業による設置1台

カウントダウンボード設置合計 536台

- ・県民会議による設置101台
- ・応援事業による設置435台



(平成27年11月4日：県庁除幕式)



(平成28年1月8日：外務省除幕式)

## (2) 各種PRツールの作成

ポストカードサイズチラシ、手提袋、クリアファイル、ウェットティッシュ、風船、ICカードステッカー、ポチ袋、ポストカード、ビニールバッグ、こども向けシール、サミットキャンディ、サミットWAON等の汎用品ツールを作成しました。

## 3 今後の展開

### (1) カウントダウンボードの展開

県民会議が設置したカウントダウンボードについて、サミット終了後の再活用を大型イベント担当部局と協議を行っています。

### (2) 各種PRツールの展開

節目ウィークイベントや各サミット関連イベント等において、各種PRツールを用いて幅広く周知を行います。また、県主催イベント・市町主催イベント・県民会議会員主催イベントにてサミットPRを行っていただく場合には、ポストカードを提供させていただきます。

※申込先…事業推進課事業班 担当 藤田、森田 TEL059-253-5496

平成 28 年 3 月 29 日

伊勢志摩サミット三重県民会議事務局

事業推進課

## プレス等を活用した情報発信について

### 1 目的

伊勢志摩サミット開催を三重県の魅力を国内外に発信する絶好の機会と捉え、プレスツアーの実施により国内外のメディアに三重県を取材する機会を提供するとともに、世界的な発信力のあるメディアを活用した広告等を行い、三重県の認知度を高め、ブランドイメージの確立・浸透をはかるとともに、開催後のインバウンドをはじめとする観光客の増加や県産品の販売増につなげます。

### 2 事業の概要

#### (1) プレスツアー、ファムトリップ等

##### ① 県民会議主催プレスツアー（1泊2日） 3回実施

第1回…12月7日から8日（伊賀地域、松阪市）

第2回…2月17日から18日（東紀州地域）

第3回…5月（サミット前）に中南勢地域を中心に実施予定

##### ② 外務省等主催のプレスツアー

これまでに5回実施済

##### ③ サミット開催を契機とした海外の富裕層への戦略プロモーション事業

第1回…2月15日から19日 フランスの著名シェフ及び海外メディアを招へい

第2回…3月3日から6日 欧米を中心とする海外メディアを招へい

第3回…3月28日から30日 著名シェフ及び海外メディアを招へい

#### (2) 有力メディアを活用したPR

平成27年度…Newsweek U.S. 版への知事インタビュー及び広告掲載（別添）

平成28年度…複数の海外有力メディアを活用したPR活動を予定

### 3 今後の予定

県民会議主催プレスツアーの実施及び外務省他主催のプレスツアーの招へいにより、プレスツアー全体で三重県全域の情報発信につながるよう開催地等を調整しながら実施します。また、三重県、伊勢志摩に最も注目が集まると考えられるサミット開催直前から開催期間中に向け、海外有力メディアを活用した三重県のPRに注力します。



平成28年3月29日

伊勢志摩サミット三重県民会議事務局

事業推進課

## 三重県情報館(仮称)について

### 1 国際メディアセンター(IMC)について

#### (1) 概要

伊勢志摩サミットを取材する報道関係者のための施設である国際メディアセンター(IMC)は、三重県営サンアリーナに日本政府が設置し、サンアリーナの既存施設とサンアリーナ近くに建設される仮設施設で構成されます。

#### (2) 開設期間(三重県の想定)

平成28年5月25日～5月28日(24日はプレオープン日)

※北海道洞爺湖サミットの事例を参考に想定。

### 2 三重県情報館(仮称)の概要

#### (1) 目的

IMC内の広報スペースの一部を使用して、国内外の数千人の報道関係者等を対象に、三重県の宝や誇り、三重県が持つ日本の素晴らしさを発信するための拠点として三重県情報館(仮称)を設置します。

#### (2) コンセプト

##### ①基本コンセプト 「伝統と革新～“和”の精神～」

三重の歴史、多様で豊かな文化、自然、食、産業等における「伝統と革新」を「和」の精神という切り口で捉え、「静と動」の織り成す三重の多様な魅力を発信する。

##### ②展示コンセプト

「伝統」を守りながらも「革新」を積み重ねることで進化してきた「三重」の「姿」「技」「食」一繰り返すことで、いつまでも瑞々しくて若々しい「常若」の思想

#### (3) コンテンツ選定

##### ①選定委員会の設置

公平かつ透明性のある展示コンテンツ選定を行うにあたり、コンテンツ選定委員会(委員長 西村訓弘三重大学副学長)を県民会議事業推進部会の下に設置しました。議論の内容等は以下の通りです。

	議論の内容
第1回 (1月19日)	「展示コンセプト」「募集・照会要領」「選定要領」等を決定
第2回 (2月17日)	「応募・推薦コンテンツ」のランク付(Aランク「ぜひ展示したい」、Bランク「できれば展示したい」、Cランク「どちらでもよい」)
第3回 (3月9日)	展示コンテンツを選定、展示企画・方法・ストーリーに関する意見交換

## ②コンテンツの応募・推薦数及び選定結果

1月28日(木)から2月9日(火)にかけて、以下のカテゴリでコンテンツを募集・照会したところ、181件の応募・推薦があり、3月9日(水)の第3回コンテンツ選定委員会で68件が選定されました。

なお、外務省等との調整もあることから、展示コンテンツを含めた三重県情報館(仮称)の内容についての公表は未定です。

カテゴリ	募集・照会先	応募・推薦数	選定数	
自然	県、市町	11	181	4
歴史・文化	県、市町	32		9
伝統工芸	県	38		14
先端技術	県、企業・団体	58(うち県推薦2)		19
食	県	42		22

## (4) 今後の予定

三重県情報館(仮称)と政府広報スペースを含むIMC内全体が調和のとれたものとなるよう、外務省と密に調整をしていきます。

今後、展示企画書の作成、実施設計の完了、展示コンテンツの収集、現場施工等を経て、4月下旬までに運営計画を作成し、5月中旬からスタッフについてトレーニングを開始し、三重県情報館(仮称)のオープンに備えます。

平成 28 年 3 月 29 日

伊勢志摩サミット三重県民会議事務局  
事業推進課

## 三重県情報誌の作成について

## 1 目的

伊勢志摩サミット開催に向けて、国内外報道関係者および G 7 各国代表団等に、三重県への理解を深めていただくとともに、サミット開催中の報道につなげる情報も提供することで、取材を通じた内外への情報発信を促進します。

## 2 事業の概要

## (1) プロローグ版三重県情報誌の発行

「伝統と革新」を兼ね備えた三重県が誇る歴史、文化、伝統、食、先端技術を「三重県人」にフォーカスして紹介するプロローグ版三重県情報誌「CLOSE UP MIE」を発行し、飯倉公館で開催された「伊勢志摩サミット開催レセプション～三重へのいざない～」で各国大使館員、外国人報道機関関係者に既存のパンフレット等とファイルにセットして配布しました。(発行部数：日本語版 2 千部、英語版 2 千部)

## (2) 三重県情報誌の発行

三重県を愛する方々へのインタビューを通じて、「伝統と革新」を兼ね備えた三重県を感じてもらうための三重県情報誌「和～THE SPIRIT OF WA～」を発行しました。

(発行部数：日本語版 8 千部、英語版 8 千部)

## 3 今後の展開

- ・伊勢志摩サミット三重県民会議のホームページに情報誌の内容を掲載することで、全国、海外に向けて発信します。
- ・プレスツアー等の機会を活用して国内外報道関係者等に配布するほか、G 7 各国先遣隊にも配布します。
- ・三重県情報誌「和～THE SPIRIT OF WA～」は、三重のおもてなしバッグの広報資料として、サミット開催時に訪れる内外の報道関係者等に配布します。



平成28年3月29日  
伊勢志摩サミット三重県民会議事務局  
事業推進課

## 多様な主体における国際理解・国際交流事業について

### 1 目的

伊勢志摩サミットの開催を契機として、サミット参加国について学ぶ機会を設け、学校や市町、民間企業・団体等、多様な主体が、国際理解・国際交流を深める機会を提供します。特に次代を担う子どもたちが多文化を理解し、国際的な視野や感覚を身に付けるきっかけとなることをめざします。

### 2 事業の概要

#### (1) 国際理解・国際交流プログラム

県民の皆様へ、サミット参加国について理解や交流を深めていただくため、園、学校、市町、企業、団体等、多様な主体が行う授業や講座等に、サミット参加国出身の在住外国人や留学生など、サミット参加国に詳しい方々を講師として派遣し、「国際理解・国際交流プログラム」を実施しました。(全91回実施、申込数196回分)

#### (2) 外務省事業「イチからわかる！サミット塾」の支援

外務省において実施する「イチからわかる！サミット塾」では、外務省の若手職員が講師となり、サミットや外交についてわかりやすい授業を、小・中・高等学校で実施しました。県民会議では、当事業の取りまとめなど支援を行いました。(29校で実施、申込数34校)

#### (3) パネル展示等による参加国紹介

サミット及びサミット参加国紹介、過去に開催されたサミットの年表、過去に日本で開催されたサミット当時の世相を紹介するパネルを作成しました。平成27年9月5日の第1回伊勢志摩サミットフォーラム以降、イベント等で展示しています。

#### (4) イベントへの出展

平成27年11月14日～15日、紀北町東長島スポーツ公園で開催された「第10回子育て応援！わくわくフェスタ」にブース出展し、伊勢志摩サミットのPRやサミット参加国の紹介を行いました。特に、子どもを対象として、子ども向けパネルの展示に加えて、サミット参加国等の国旗を利用したパズルや折鶴、手作りカウントダウンボードの作成など、楽しみながら理解を深めていただく取組を展開し、出来上がったカウントダウンボードを道の駅「紀伊長島マンボウ」に設置しました。

#### (5) その他

平成28年1月19日、津市との共催事業として、津市立南が丘中学校で在名古屋米国領事館首席領事及び津市長を講師として招き、「伊勢志摩サミット国際理解講演会」を開催しました。

### 3 取組方針

- (1) 学校や市町、民間企業・団体等、多様な主体による取組が実施されるよう働きかけを行い、一人でも多くの県民がサミット参加国や多文化に関心を持てるよう、全県的な取組とします。
- (2) 取組情報等を報道に資料提供することで、パブリシティによる情報発信を行うとともに、取組への士気を高めます。
- (3) 当事業を通じた取組を生かし、サミット終了後も継続する国際理解・国際交流事業の展開につなげていきます。

### 4 「国際理解・国際交流プログラム」の状況（実施済）

（延べ回数）

	北勢	中南勢	伊賀	伊勢志摩	東紀州	計
幼稚園・保育所	12	5	1	7	0	25
小学校	15	10	3	5	1	34
中学校	4	1	0	5	0	10
高等学校	2	0	1	4	0	7
特別支援学校	3	1	0	1	0	5
一般	4	0	3	3	0	10
計	40	17	8	25	1	91

○申込 196 回分（H27. 12. 21 申込終了）・実施 91 回分（H28. 3. 16 終了）

### 5 「イチからわかる！サミット塾」の状況（実施済）

（校数）

	北勢	中南勢	伊賀	伊勢志摩	東紀州	計
小学校	5	1	1	8	0	15
中学校	2	0	0	3	1	6
高等学校	2	1	3	1	1	8
計	9	2	4	12	2	29

○申込 34 件（H27. 11. 30 申込終了）・実施 29 校（H28. 3. 16 終了）

### 6 今後の進め方

多くの学校や市町、民間企業・団体等に参加していただき、「国際理解・国際交流プログラム」を実施するとともに、外務省主催の「イチからわかる！サミット塾」についても、一部共催し実施しました。取組の様子は多くの報道機関に取材していただき、伊勢志摩サミットを契機とした国際理解・国際交流への取組を発信することができました。

平成28年度においても、引き続き「国際理解・国際交流プログラム」を実施する予定です。小・中・高など、特に子どもたちを対象に実施し、明日へつなぐ取組としてまいります。

平成28年3月29日  
伊勢志摩サミット三重県民会議事務局  
開催支援課

## インフォメーション機能の整備について

### 1 目的

伊勢志摩サミットの開催に際して、移動・滞在・観光等のインフォメーション機能を充実させ、来県者（主に報道関係者）への支援を行うなど、世界各国からの来県者をおもてなしの心でご案内できるようインフォメーションセンターを設置する。

### 2 取組内容

#### (1) インフォメーションセンター設置場所と活動内容

##### ① 主要拠点（運営主体：三重県民会議）

- ・国際メディアセンター
- ・滞在期間中の活動支援全般と三重県の情報発信

##### ② 県内主要ターミナル（運営主体：各所在市町主体）

- ・津駅、津なぎさまち旅客ターミナル、松阪駅、伊勢市駅  
近鉄宇治山田駅、近鉄五十鈴川駅、鳥羽駅、近鉄鵜方駅等
- ・宿泊先～国際メディアセンター等への移動支援と現地観光案内

##### ③ 三重県外（運営主体：伊勢志摩サミット東海会議等と連携）

- ・中部国際空港、名古屋駅等
- ・現地への移動支援と三重県及び中部地域の情報発信

#### (2) 運営スタッフ（上記①②③は次の通り）

- ① 県民会議スタッフ、委託先スタッフ、外国語案内ボランティア
- ② 運営主体のスタッフと県民会議派遣の外国語案内ボランティア
- ③ 運営主体のスタッフと県民会議スタッフ及び県民会議派遣の外国語案内ボランティア

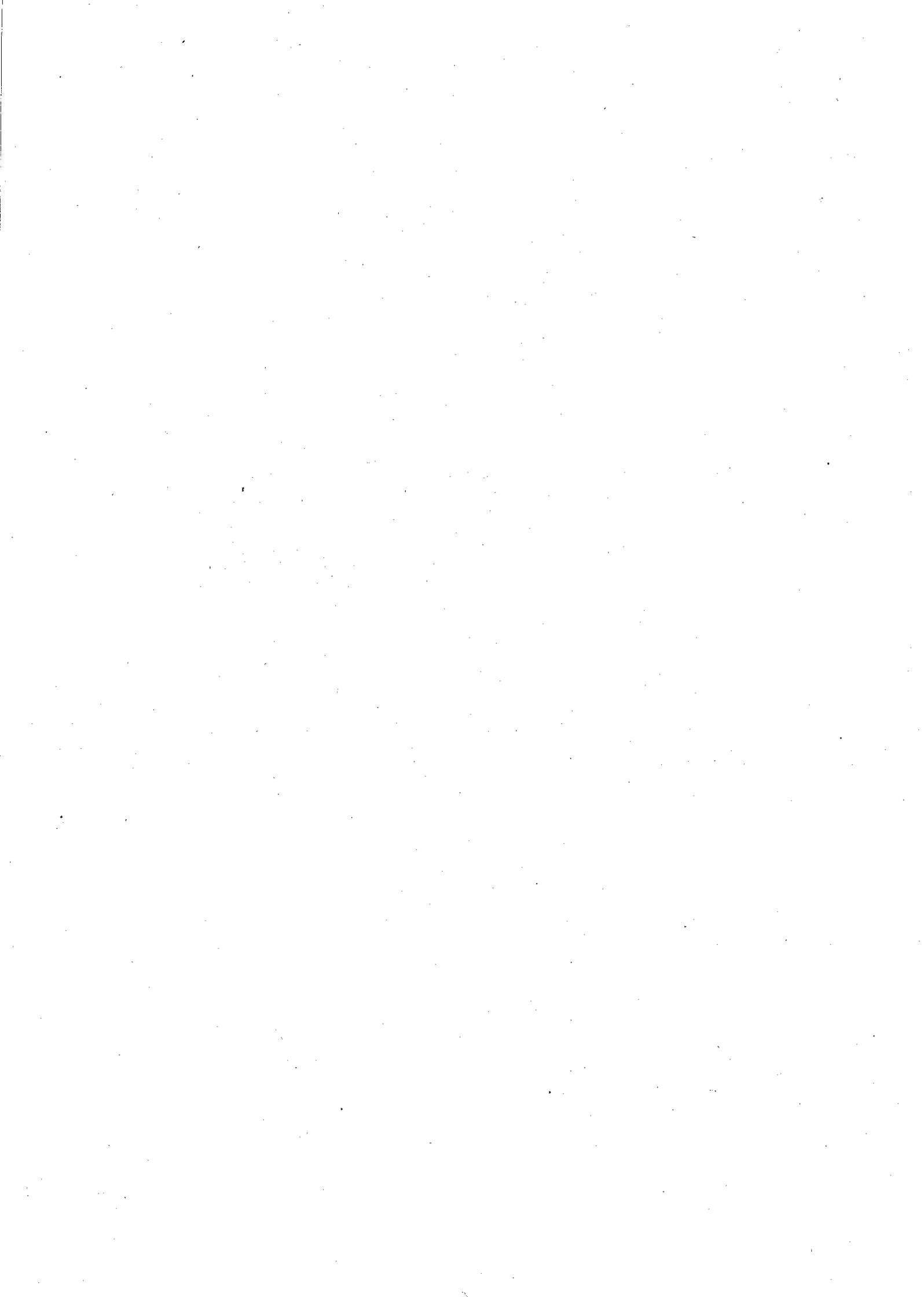
※センターを設置しない市町の観光案内所スタッフ等も実践研修の場として参加可能とする。

### 3 取組方針

- (1) 三重県及びサミット関連の情報発信資料は各拠点で共通に使用できるものを県民会議で用意する。各拠点独自の資料、サービス内容は各運営主体が企画・手配する。
- (2) 三重県内の拠点で必要となる外国語案内ボランティアは、県民会議が一括して募集し派遣する。
- (3) インフォメーションセンタースタッフとして全拠点に共通して必要なサミット関連の知識や接遇方法等については、県民会議以外のスタッフについても合同で研修を行う。

### 4 事業実施スケジュール

平成27年9月～平成28年4月	各運営主体との設置に係る調整
平成28年2月～4月	ボランティア・スタッフ研修
平成28年5月20日(金)～28日(土)	インフォメーション設置



平成28年3月29日  
伊勢志摩サミット三重県民会議事務局  
開催支援課

外国語案内ボランティアについて

1 目的

伊勢志摩サミットの開催に際して、国際メディアセンターや県内主要駅等に設置するインフォメーションセンター等において、主に外国人報道関係者に対し、円滑な取材・報道活動を行っていただくため、外国語による交通や観光の案内、三重県の情報発信等の支援を行う。

2 募集概要

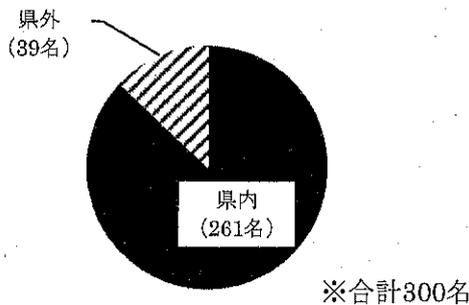
募集対象：英語による案内業務が可能な、県内外の一般、大学生、外国人留学生及び高校生等

募集期間：平成27年10月30日～12月10日

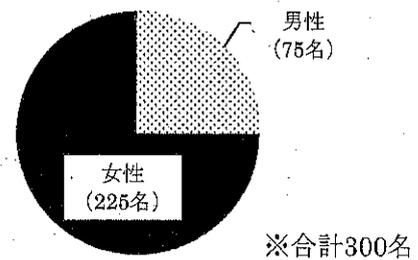
応募者数：1003人

採用者数：300人（当初予定200人程度）

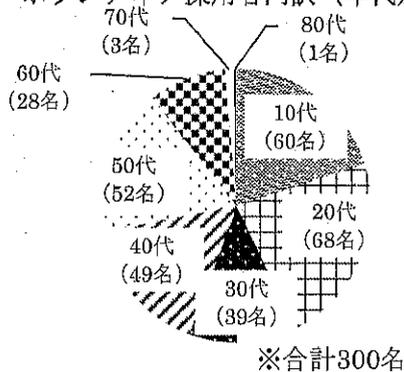
ボランティア採用者内訳（居住地別）



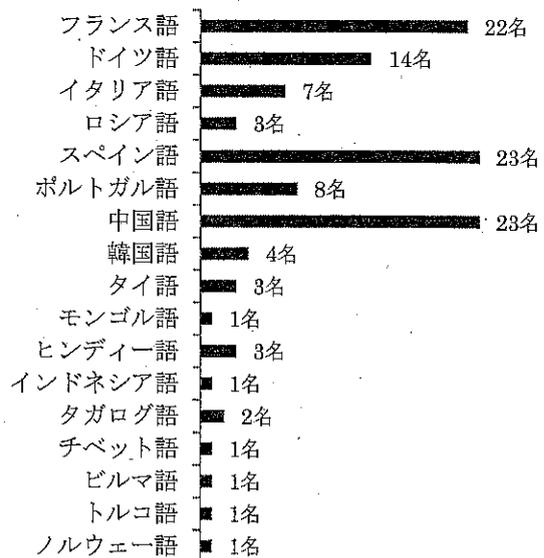
ボランティア採用者内訳（性別）



ボランティア採用者内訳（年代別）



英語に加え他言語にも対応可能な人材



### 3 活動内容

ボランティア参加者は、語学研修及び接遇研修の受講を必須とし、今後の活動を見据えたレベルアップを図ります。その後、国際メディアセンターや県内主要駅等に設置されるインフォメーションセンター等において、移動・滞在・観光等の情報提供を通じて主に外国人報道関係者を支援します。

参加機会の拡充のため、当初計画に加え名古屋駅、セントレア（エアポートライン乗船場）、近鉄五十鈴川駅での活動を実施するとともに、国際メディアセンターへのシャトルバス乗り場などでの活動も検討中です。

### 4 取組方針

- (1) ボランティアの募集、研修及びコーディネート業務を企画提案コンペにより外部委託する。

【委託先】公益財団法人三重県国際交流財団

- (2) ボランティア参加者及び応募者が、以後、県内で開催されるMICE、外国人観光客のおもてなし及び各種ボランティアにおいて引き続き活動できる仕組みづくりについて、上記委託先とも連携して取り組む。
- (3) インフォメーションセンター以外のサミット関連事業（プレスツアー、ジュニアサミット等）での外国語ボランティア派遣の要望についても対応する。（その際は採用者300人以外の者も派遣対象とする）
- (4) 企業単位でボランティア協力申請をいただいた場合は、セントレアを中心に活動の機会を調整する。

※申請企業：日本トランスシティ(株)、(株)百五銀行、住友電装(株)

### 5 事業実施スケジュール

平成27年10月8日～21日	業務委託先公募
10月26日	業務委託先決定
10月30日～12月10日	ボランティア募集
平成28年1月14日	ボランティア選考・結果通知
2月14、20日	第1回語学研修（鈴鹿、伊勢）
3月13、26日	第2回語学研修（鈴鹿、伊勢）
4月15、16、17日	接遇研修（津、伊勢、鈴鹿）
5月15日	結団式（津）
5月20日～28日	インフォメーションセンター等での活動
6月11日	解散式（津）

平成28年3月29日  
伊勢志摩サミット三重県民会議事務局  
開催支援課

## 住民懇話会の開催状況について

### 1 目的

伊勢志摩サミットの成功に向けて、住民の要望や意見を聞き取り、今後の事業方針に活用するとともに、警備関係機関と連携・協力して、サミット開催に伴う住民生活への影響についての理解と協力を求めるため。

### 2 実施者

- (1) 主催：三重県雇用経済部伊勢志摩サミット推進局  
(2) 共催：三重県警察、第四管区海上保安本部及び地元4市町

### 3 開催結果

#### (1) 第1回住民懇話会

参加対象：各市町の自治会長（区長）

地区	日付	時間	場所	参加者数
伊勢市	12/10(木)	19:00～	ハートプラザみその	85 自治会
鳥羽市	11/28(土)	11:00～	鳥羽市民文化会館	36 自治会
志摩市	11/28(土)	15:00～	志摩市役所	38 自治会
南伊勢町	11/20(金)	19:00～	南伊勢町役場	32 区

参加者合計 191 人

#### (2) 第2回住民懇話会

参加対象：各市町の住民や地元企業等

地区	日付	時間	場所	参加者数
伊勢市	2/13(土)	14:00～	伊勢市生涯学習センター いせトピア	40 人
鳥羽市	2/28(日)	14:00～	鳥羽市民文化会館	26 人
志摩市	2/7(日)	19:00～	浜島B&G海洋センター	52 人
	2/10(水)	19:00～	磯部生涯学習センター	62 人
	2/11(木)	14:00～	志摩市役所	94 人
		19:00～		34 人
	2/13(土)	19:00～	神明地区公民館	99 人
	2/15(月)	19:00～	賢島パークホテル「みち潮」	53 人
	2/21(日)	13:30～	間崎島開発総合センター	40 人
	2/27(土)	14:00～	志摩文化会館	90 人
19:00～		大王公民館	34 人	
南伊勢町	2/7(日)	14:00～	南伊勢町町民文化会館	60 人

参加者合計 684 人

#### 4 説明内容

##### (1) 三重県

- ア 三重県による取組状況の説明
- イ 三重県民会議による取組状況の説明
- ウ 消防による取組状況の説明

##### (2) 三重県警察・第四管区海上保安本部

- ア 警備計画の進捗状況
- イ 警備による住民生活への影響状況
- ウ 今後の警備方針

##### (3) 地元自治体

- ア イベントの実施計画
- イ 警備への協力方針



#### 5 第2回住民懇話会開催時の質疑応答

##### (1) 主な質問内容

- ア IDカード、車両通行証の発行手続きについて
- イ 検問や交通規制の開始時期、実施場所等、具体的な警備計画について
- ウ 海上航行や漁業への影響度合いについて

##### (2) 応答内容

- ア 現在、関係機関の間で調整中であり、決定次第情報発信する。
- イ 具体的な警備手法等については最後まで公表は難しい。しかし、交通規制や迂回路等の情報は決定次第、積極的に発信していきたい。

#### 6 今後の予定

第3回住民懇話会は、4月下旬から5月上旬に開催予定

平成28年3月29日  
伊勢志摩サミット三重県民会議事務局  
開催支援課

## プレス用シャトルバス運行について

### 1 目的

伊勢志摩サミットの取材のため海外から来県する報道関係者が、セントレア・宿泊ホテル間の公共交通機関による移動にあたって感じる負担や不便を軽減する。

### 2 取組内容

#### (1) 移動支援

- ① 津なぎさまちと海外プレスの宿泊先ホテルを結ぶ無料シャトルバスを運行する。
- ② 航空機の発着が集中する時間帯について、津エアポートライン（高速船）の増便運航を依頼する。

#### (2) 運行計画

##### ① シャトルバス

・往路〔5月24日・25日〕

津なぎさまち発で、津地区・松阪地区・伊勢地区・鳥羽地区・亀山地区の5地区へ高速船の到着時間に合わせて運行（津なぎさまち発 11:00～23:00 の間に11便）。

・復路〔5月28日〕

上記5地区発、最寄の鉄道駅を経由し津なぎさまちに到着バスを高速船出発時間に合わせて運行（津なぎさまち着 5:30～18:30 の間に12便）

##### ② 津エアポートライン（高速船）

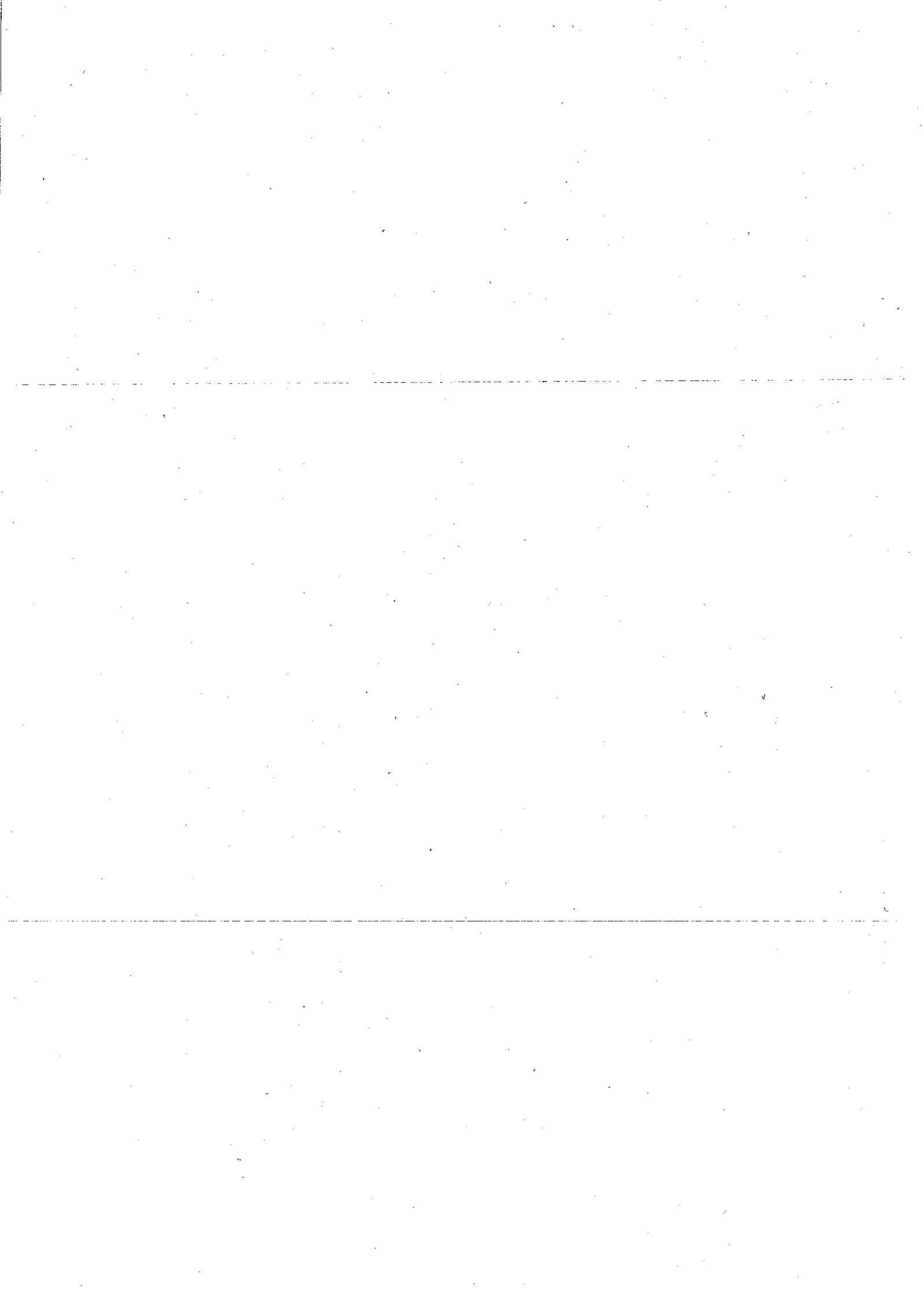
5月24日・25日・28日の期間で、航空機の発着が集中する時間帯に接続する高速船について、通常1便運航のところを2便運航（各日5便増）及び通常運航しない時間帯に1便運航。

#### (3) 取組方針

- ① 宿泊予約センターや外務省を通じた情報提供、セントレア内での情報発信などにより、海外プレスに対し、セントレア・宿泊ホテル間の移動について、高速船利用ルートを推奨する。
- ② 津エアポートライン及びシャトルバスでの移動中に効果的な三重の情報発信を行う。

### 3 事業実施スケジュール

平成28年2月	シャトルバス運行計画案作成、高速船運航依頼・調整
3月～4月初旬	バス運行事業者への業務委託
4月中	シャトルバス運行計画決定
5月24,25,28日	シャトルバス運行実施



平成28年3月29日  
伊勢志摩サミット三重県民会議事務局  
開催支援課

各国首脳等と県民との交流について  
～「世界との絆づくり」～

1 事業の概要

地域の国際化や情報発信の促進、学生や子ども達のサミットへの参加意識の高揚、各国と地域の一層の関係強化につなげるため、伊勢志摩サミット開催前後に、来県される各国首脳等や配偶者に県内市町等を訪問していただき、姉妹都市関係、大学間協定をはじめとする歴史、文化、教育、産業などのつながりを踏まえた、記念事業、伝統文化の紹介など、地域住民との交流プログラムを実施する。

2 取組方針

(1) サミット参加各国等と県内市町及び県内高等教育機関とのつながり

県内市町及び県内高等教育機関（以下、「県内市町等」。）とサミット参加各国等とのこれまでのつながりや、未来に向けた関係強化の動きを生かした交流を実施する。

(2) 一層の関係強化、地域の伝統文化、特産品の発信

交流にあたっては、サミット参加各国等の歓迎等に加え、県内市町等とサミット参加各国等の一層の関係強化につながる内容とし、かつ、機会を捉えた地域の伝統文化、特産品の発信を実施する。

(3) 県と県内市町等との連携

交流プログラムの立案、調整、実施に際しては、県及び県民会議と県内市町等で連携して実施する。

3 進め方

各国首脳等や配偶者と県民との交流実現に向け、県内市町等から提案いただいた交流プログラム案を基に各国に対し働きかけを行う。

※交流プログラム案について、セキュリティ等の観点から内容等は非公表。

## G7各国と市町との姉妹(友好)都市提携の状況

国	州・市	市町	提携年月
アメリカ	ロングビーチ市(カリフォルニア州)	四日市市	1963年10月
	ベルフォンテン市(オハイオ州)	鈴鹿市	1991年 8月
	サンタバーバラ市(カリフォルニア州)	鳥羽市	1966年 3月
	キャマス市(ワシントン州)	多気町	1995年10月
フランス	ル・マン市	鈴鹿市	1990年 5月
イタリア	ソレント市(カンパーニア州)	熊野市	2001年11月
カナダ	プリンス・ルパート市(ブリティッシュコロンビア州)	尾鷲市	1968年 9月

平成28年3月29日  
伊勢志摩サミット三重県民会議事務局  
開催支援課

## 各国先遣隊歓迎夕食会について

### 1 事業の概要

来県される各国先遣隊に対し、三重の食材を生かした料理やお酒、伝統芸能等の披露等によるおもてなしで慰労するとともに、三重の魅力を発信し本国に伝えていただくため、夕食会を開催する。

※先遣隊：本国政府の関係者がサミットの準備状況確認のため来県するもの。

北海道洞爺湖サミット時には、G8すべての国等（米、英、仏、独、伊、加、露、EU）に対し、北海道洞爺湖サミット道民会議主催の夕食会が開催されている。

### 2 実施内容

- (1) 場 所 伊勢志摩地域のホテル
- (2) 時 期 平成28年2月から4月頃を想定
- (3) 対応者 伊勢志摩サミット三重県民会議（三重県、関係市町等）

### 3 その他

- ・先遣隊の三重県訪問については非公表とのことであるため、夕食会についても非公表とする。



平成28年3月29日  
伊勢志摩サミット三重県民会議事務局  
総務課

## 伊勢志摩サミット記録誌の発行について

### 1 方針

伊勢志摩サミットの準備から開催経過、県民会議や市町等の取組をまとめて記録誌として刊行し、サミット後の県や市町の施策展開や民間企業等の取組に役立てる。

### 2 発行時期及び配布先（案）

平成28年内をめどに発行し、県民会議会員、関係議員、国、都道府県、報道機関、寄附者、協賛事業者、応援事業者、各事業関係者などを対象に配付する。

### 3 記録誌の掲載内容

北海道洞爺湖サミット記録誌を参考に、今後検討していく。  
動画素材を用いた記録についても検討する。

#### 〔北海道洞爺湖サミット記録誌 概要〕

#### 第1篇 サミット会合開催概要

##### 第1章 G8サミットの概要

##### 第2章 北海道洞爺湖サミットの概要

##### 第3章 関連行事

##### 第4章 NGOとの対話

#### 第2編 サミット開催に向けて

##### 第1章 誘致

##### 第2章 体制

#### 第3篇 道民会議等の取組

##### 第1章 概要

##### 第2章 開催支援

##### 第3章 北海道発信 ◆北海道情報の総合的な発信◆環境◆食◆観光◆芸術文化

##### 第4章 おもてなし ◆歓迎気運の醸成◆おもてなしの充実

##### 第5章 未来

##### 第6章 連携プロジェクト事業

##### 第7章 地域の取組

##### 第8章 消防・保健医療

#### 第4編 予算・決算

##### 第1章 道民会議事業

##### 第2章 行政事業

資料



平成28年3月29日  
伊勢志摩サミット三重県民会議事務局  
総務課

## 伊勢志摩サミット記念館の設置について

### 1 方針

伊勢志摩サミット開催を記念し、サミットの様子や使用された調度品・県産材等の紹介を行うことなどにより、伊勢志摩サミットの足跡を後世に伝えるものとして、伊勢志摩サミット記念館（仮称）を設置する。

「明日へつなぐ」事業として、子どもたちの学習機会の場となるような展示も勘案した、体験型の要素を含めた記念館とする。

### 2 設置時期

平成28年度内～サミット開催1年後の間において設置する。

### 3 設置場所

- サミット開催の記念となるにふさわしい場所
- 既存の建物を生かせる場所
- アクセス的にも多くの人に触れることのできる場所 を検討していく。

### 4 運営主体

記念館を設置する市町において、運営及び運営に伴う費用を負担することを前提に検討する。

### 5 展示内容

- 首脳会議場等での調度品、三重県情報館（仮称）での展示品を中心に選定する。
- 物品の展示に加え、動画の利用等、動的な要素も盛り込む。



平成28年3月29日  
伊勢志摩サミット三重県民会議事務局  
事業推進課

## 伊勢志摩サミットを契機とした三重県PR動画の制作・放映について

### 1 目的

伊勢志摩サミット開催を契機として、主に都市圏の人々及び訪日外国人をターゲットに、三重県を印象づけ、興味を持っていただけるように、三重県PR動画を制作し、順次放映しています。

### 2 事業概要

#### (1) 動画内容

「伝統と革新が共存する場所、三重」をテーマに、伊勢志摩サミット開催地である三重県の知事が直接語りかける内容となっています。

#### (2) 音声、字幕及び放映時間

音声は日本語とし、英字テロップを挿入します。各交通機関での放映を予定しているため、放映時間はコンパクトに30秒としています。

#### (3) 放映場所

地域	放映場所	放映頻度	放映面数	放映期間
首都圏	JR 品川駅	約 342 回/日	44 面	5 月 23 日～29 日
	JR 東京駅	約 180 回/日	91 面	5 月 1 日～31 日
	京成電鉄 成田スカイライナー	約 560 回/日	64 面	5 月 1 日～31 日
中部圏	セントレア	約 30 回/日	1 面	3 月 1 日～5 月 31 日
	名鉄名古屋駅	約 2,540 回/日	22 面	5 月 23 日～29 日
関西圏	関西国際空港	約 152 回/日	11 面	5 月 1 日～31 日
その他	県民会議 HP 及び Youtube	—	—	3 月 1 日～

上記の他、伊勢志摩サミット三重県民会議への協賛としてANAの国内線機内VTR（5月1日～31日）をはじめ、多くの企業の皆さまに放映に対してご協力いただいています。



平成28年3月29日  
伊勢志摩サミット三重県民会議事務局  
事業推進課

## ANA・JAL機内誌等でのPR

### 1 目的

伊勢志摩サミットの開催を前に、ANA及びJALの利用者に三重県伊勢志摩でサミットが開催されること及び三重県を広く知っていただくため、機内でのPRを展開する。

### 2 取組内容

#### (1) ANAの協賛等による機内でのPR

ANAホールディングス株式会社と三重県との連携と協力に関する覚書の締結に基づき、ANAから機内誌面及び機内映像の放送枠を無償で提供いただいたことから、伊勢志摩サミットのPRに取り組む。

##### ①ANA機内誌へのPR広告掲載

国内線「翼の王国」4月号(別添)、国際線「WING SPAN」5月号

##### ②機内でのPR動画の放映

国内線の機内VTR(30秒)5月

##### ③CNNでのPR動画の放映

2月にANAの「Tastes of JAPAN」三重県特集として機内で放映された30分番組を外国人の目線で1分間に編集し、CNNにて3月に48回放送。(別添)

#### (2) 首相官邸によるPR

サミットが開催される伊勢志摩及び関係閣僚会合開催地をPR

ANA、JAL国際線機内誌3月号(別添)



平成28年3月29日  
伊勢志摩サミット三重県民会議事務局  
開催支援課・事業推進課

## 三重のおもてなしバッグについて

### 1 目的

来県される各国代表団及び国内外報道関係者に対し、県民のおもてなしの心と歓迎の意を表すとともに三重の持つさまざまな魅力を伝えるため、「三重のおもてなしバッグ」を編成し、配布する。

### 2 取組方針

#### (1) 企業や団体からの協賛

県民会議のノベルティグッズを除き、収納する物品等は、企業や団体からの協賛を得ることを基本とする。

#### (2) 三重の魅力を発信

三重県の持つさまざまな魅力を紹介し、地域情報を提供することで、国内外への情報発信につなげるため、三重県及び伊勢志摩の広報資料を厳選して収納する。

#### (3) 国との重複をさける

実用品等を除き、特徴的なもので国が配布するものは、対象外とする。

### 3 概要

#### (1) バッグの概要

- 名称 「三重のおもてなしバッグ」
- 仕様 県民会議で作成した紙製手提げバッグを基本として、作成する。
- 配布先 来県される各国代表団及び国内外報道関係者
- 作成数 4,000～6,000 を作成予定

#### (2) バッグへ収納する物品等

- すぐに使える実用品
- 三重の魅力を伝えるもの
- 県民会議のノベルティグッズ

#### (3) 収納する広報資料のテーマ

- 三重の発信  
伊勢志摩サミットが開催される三重県全体の情報
- 伊勢志摩の発信  
伊勢志摩サミットの開催地域をさらに掘り下げた伊勢志摩地域の情報
- 伊勢神宮の発信  
伊勢志摩サミット決定時等における安倍総理の発言を踏まえ、外国人には分かりにくい存在である伊勢神宮の情報

### 4 今後の進め方

準備期間が限られていることから、早急に、収納するバッグの仕様を調整し、作成を進めるとともに、関係企業等へ協賛の協力を依頼していく。

また、外務省等と調整を行い配布方法を決定したうえで、作業計画を決定し、事業を進めていく。



平成28年3月29日  
伊勢志摩サミット三重県民会議事務局  
開催支援課

## おもてなし向上研修について

### 1 目的

国際観光地としての三重県のレベルアップを図るため、世界各国からの訪問者に満足いただけるおもてなしを行えるよう外国人に対する接遇等の方法を学ぶ機会を提供する。

### 2 取組内容

#### (1) 訪日外国人おもてなし研修

受講対象：生活衛生関係営業施設の営業者（飲食店、旅館業等）

##### ①第1回

日時：平成28年2月2日（火）13:30～16:00

場所：三重県伊勢庁舎

テーマ：外国からのお客様に喜ばれるおもてなし

参加者：75名

##### ②第2回

日時：平成28年2月24日（水）15:00～16:00

場所：三重県合同ビル（津市）

テーマ：アレルギー物質及び宿泊者名簿の外国語表記

参加者：76名

#### (2) 心でつながるインバウンド対応接遇研修

受講対象：県内各市町の観光部署及び観光協会・観光案内所等の職員  
（外国語案内ボランティア向けの接遇研修と合同で実施）

日時：①平成28年4月15日（金）13:30～16:30

②平成28年4月16日（土）9:00～12:00

③平成28年4月16日（土）13:30～16:30

④平成28年4月17日（日）9:00～12:00

⑤平成28年4月17日（日）13:30～16:30

場所：①三重県総合文化センター

②③三重県伊勢庁舎

④⑤鈴鹿医療科学大学・白子キャンパス

テーマ：接遇の重要性を理解し基本的なマナーを身に付けること  
異文化を理解し外国人対応力を高めること

参加者（定員）：各回80名 計400名

（内、約300名は外国語案内ボランティア）

